

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして、平成 24 年度で開館 37 年目を迎えます。県民の学術文化の重要な拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、平成 23 年度は、特別展 1 回、資料紹介展等 4 回、マイミュージアムギャラリー展示 7 回を実施いたしました。開館 35 周年記念特別展「濃尾震災 120 年」(9 月 13 日～11 月 13 日)では、自然科学、人文科学双方からのアプローチによって、濃尾地震のメカニズムや猛威、震災に立ち向かった人々の姿を浮き彫りにしました。本展は、東日本大震災後で巨大地震や被災地の復興に関心の高いなか多くの方にご観覧いただき、地震への対策や被災地の支援について考える機会としていただきました。関連事業では、岐阜大学教授の小井土由光氏のご協力を得て、講演会「活断層と地震」や「根尾谷断層見学会」を実施し、郷土の活断層への認識を深めていただくことができました。また、社会教育における地域学習の取り組みとして、坂下公民館(中津川市やさか地区)の「阿寺断層研究会」が阿寺断層について調査研究した成果を展示や講演会で紹介しました。

このほか、企画展として、「赤坂 金生山～新川化石コレクション～」(4 月 23 日～6 月 26 日)、「昆虫の世界～色と形の不思議～」(7 月 9 日～9 月 11 日)、「発掘された飛騨・美濃の歴史」(11 月 15 日～1 月 15 日)、「自然を楽しむ科学の眼 2011-2012 (第 32 回 日本自然科学写真協会写真展)」(2 月 11 日～3 月 25 日)を開催いたしました。

平成 24 年度は、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会が開催されます。このため、特別展として、「ジオペディアぎふ～岐阜の大地から地球史を探る～」 「飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産—」 「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展」を開催し、県内外の皆様に広く、自然、人文両面から岐阜県のもつ多様なすばらしさをご紹介しますこととしております。

このほか、企画展(3 回)、マイミュージアムギャラリー展示(7 回)、催しもの、わくわく体験コーナーなど、広く県民の皆様に楽しんでいただける催事を多数計画しております。また、調査研究活動、資料収集保管活動、当館サポーター協働事業、外部機関との連携といった博物館活動も、より一層充実させるよう努めてまいります。

ここに、平成 23 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 35 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 河 合 正 明

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 平成23年度のあゆみ

1 職員	6
2 岐阜県博物館協議会	7
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	8
5 展示活動	
6 調査研究活動	16
7 資料収集活動	20
8 教育普及活動	21
9 利用状況	29
10 博物館関係団体	30

III 利用案内（平成24年度）	31
------------------------	----

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる

展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、更に図表、模型等他種類の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室1（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・人文展示室2（人文課題展示・企画展示）
主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を生態的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室（企画展示）
資料紹介展などの企画展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
- ・サポーターとの協働や県民の自主活動の支援事業等を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

昭和 46 年	3 月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	8 月	入館者 90 万人を突破	11 月	入館者 140 万人を突破	
	4 月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	10 月	学習ビデオスタジオコーナーを設置	平成 4 年	3 月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申
6 ～ 9 月		博物館懇談会を設ける	昭和 60 年	4 月	特別展「濃飛の蘭学」		
昭和 47 年	4 月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	7 月	特別展「鉱物の世界」	4 月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	
昭和 48 年	8 月	起上式举行	10 月	特別展「美濃の刀剣」 入館者 100 万人を突破	7 月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	
昭和 49 年	3 月	展示実施計画樹立	昭和 61 年	4 月	特別展「徳山の四季とくらし」	10 月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」
	10 月	定礎式	7 月	特別展「奥飛騨の自然」	11 月	小中学生常設展入館料無料化	
昭和 50 年	3 月	展示工事着手	9 月	人文展示室 1 を改装	平成 5 年	3 月	入館者 150 万人を突破
	7 月	本館建築竣工	10 月	開館 10 周年記念式典を举行	4 月	特別展「土と炎の芸術」	
昭和 51 年	1 月	展示工事完了		開館 10 周年記念展「ふるさとの祭り」	9 月	29 日大型ほ乳類足跡化石	
	4 月	岐阜県博物館条例公布岐阜県博物館設置展示資料等製作完了	昭和 62 年	4 月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者 110 万人を突破	10 月	を美濃加茂市で発掘
	5 月	開館記念式典举行 一般公開	7 月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	11 月	特別展「失われゆく植物」 「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成	
	7 月	巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	10 月	特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元	平成 6 年	1 月	20 日マイ・ミュージアム棟起工式
	8 月	特別展「ふるさとの文楽」	昭和 63 年	1 月	自然展示室 1 を改装	3 月	大型ほ乳類足跡化石を展示
	10 月	入館者 10 万人を突破	4 月	特別展示室ショーケース改修	4 月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」	
	11 月	入館料徴収開始	7 月	特別展「ふるさとの湿原」 中部未来博 '88 記念展「中山道～美濃十六宿～」	8 月	恐竜の歯等荘川村で発見	
昭和 52 年	5 月	特別展「熊谷守一展」 特別展「日本伝統工芸秀作展」	10 月	特別展「中生代の化石」 入館者 120 万人を突破	9 月	特別展「美濃山地の自然」	
	7 月	特別展「郷土の化石展」	平成元年	4 月	特別展「濃飛の古墳時代」	10 月	入館者 160 万人を突破
	11 月	特別展「鉄斎」	7 月	特別展「ふるさとの野鳥」	12 月	ユタ州訪問（花フェスタ '95 展示化石の借用、交流の推進）	
昭和 53 年	4 月	入館者 30 万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」	8 月	16 日恐竜足跡化石白川村で発見	平成 7 年	3 月	マイ・ミュージアム棟工事の完成
	7 月	特別展「世界のコガネムシ」	10 月	特別展「移ろいゆく年中行事」			ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成
	10 月	特別展「能面と装束」	11 月	日本生命財団から図書 岐阜県博物館総合案内」4,000 冊の寄贈を受ける	4 月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ '95 にユタ州恐竜化石を展示	
昭和 54 年	4 月	入館者 40 万人を突破 特別展「濃飛の先史時代」	平成 2 年	4 月	特別展「輪中と治水」	7 月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典举行 一般公開
	7 月	特別展「世界の貝」	7 月	特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レプリカ除幕式	8 月	恐竜ゼミナール GIFU' 95 開催	
	10 月	特別展「濃飛の文人」		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	10 月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催） 県下第 1 号として「マルチメディア工房さふ」開設	
	11 月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設			11 月	円空シンポジウム「世界における円空」	
昭和 55 年	4 月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」			平成 8 年	4 月	高校生常設展入館料無料化
	5 月	入館者 50 万人を突破			5 月		
	7 月	特別展「化石の世界」			7 月	入館者 170 万人を突破	
	10 月	特別展「養虫山人」			開館 20 周年記念展「恐竜のふるさとユタ」		
昭和 56 年	4 月	特別展「美濃の絵馬」					
	5 月	入館者 60 万人を突破					
	7 月	特別展「御岳山は生きている」					
	10 月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	昭和 57 年	4 月	特別展「高賀山の信仰」 入館者 70 万人を突破		
			7 月	特別展「ふるさとの植物」			
			10 月	特別展「東洋の貨幣」			
昭和 58 年	4 月	特別展「岐阜県の考古遺物」	平成 3 年	3 月	岐阜県博物館案内標識を設置		
	5 月	入館者 80 万人を突破	4 月	特別展「ふるさとの木の文化」			
	7 月	特別展「長良川」	7 月	特別展「ふるさとの哺乳動物」			
	10 月	特別展「郷土の生んだ先覚者」	10 月	置県 120 年・岐阜鹿児島姉妹県盟約 20 周年記念			

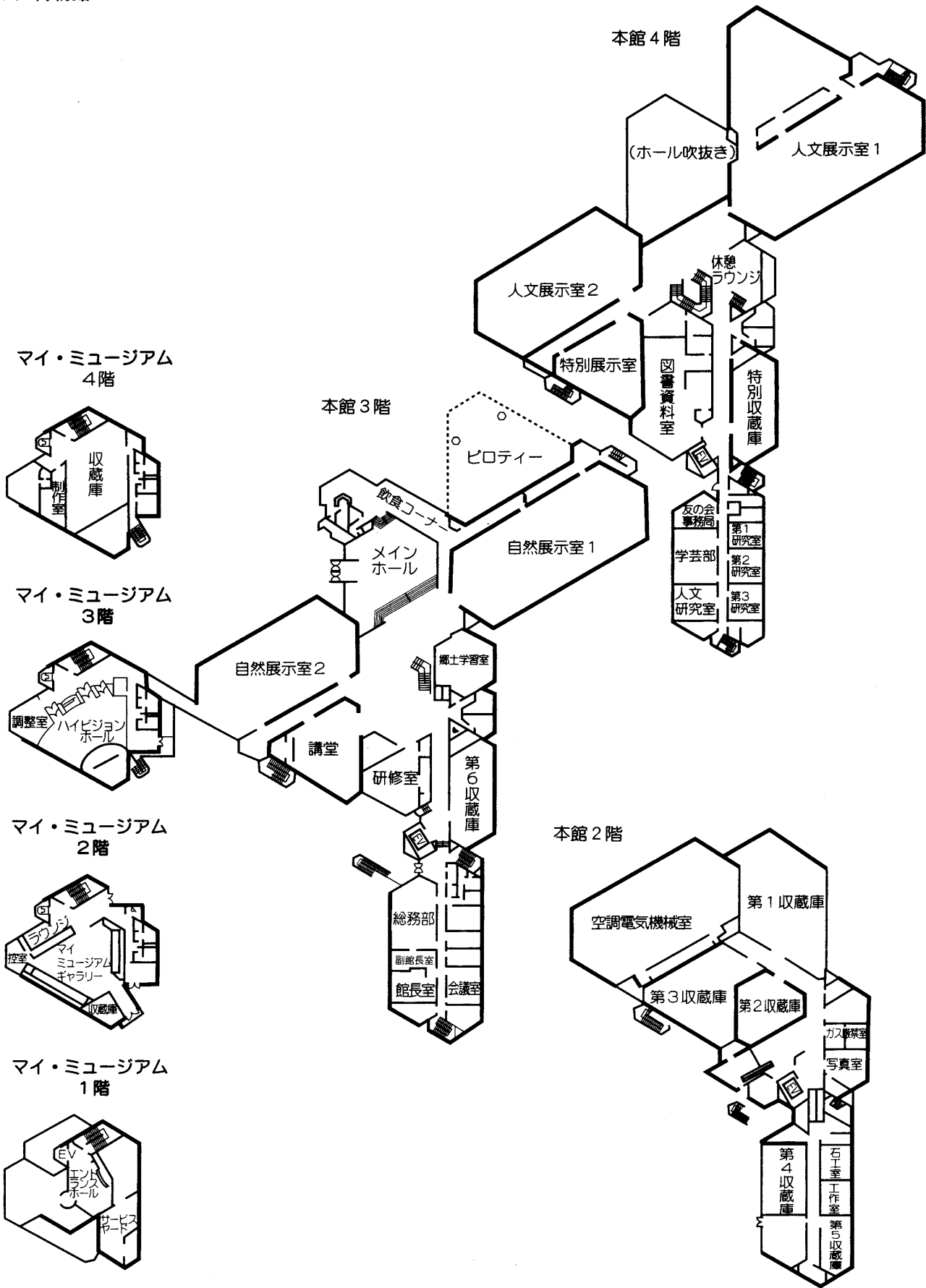
	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	平成 12 年 7 月	木に刻んで～ 特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	7 月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」
10 月	飛騨美濃合併 120 周年記念展「岐阜県の明治維新」	9 月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	9 月	特別展『『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～』
11 月	飛騨美濃合併 120 周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	11 月	入館者 200 万人を突破	平成 18 年 4 月	開館 30 周年記念式典挙行
平成 9 年 3 月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成	平成 13 年 7 月	特別展「あこのろいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	5 月	開館 30 周年記念特別展 緑いきいき！岐阜の森」 開館 30 周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～
4 月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」	9 月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	8 月	入館者 240 万人を突破 飛騨美濃合併 130 周年記念行事博物館 1 日無料開放
9 月	特別展「薬草のふるさと伊吹」	11 月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイミュージアムギャラリー)	9 月	飛騨美濃合併 130 周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」
11 月	入館者 180 万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい「博物館を目指して～」	平成 14 年 2 月	NEDO 共同研究事業太陽光発電システム完成	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 10 年 3 月	財団法人日本博物館協会表彰 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	3 月	バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	平成 19 年 7 月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南 5 億年の旅～」
4 月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	4 月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	9 月	特別展「発掘された日本列島 2007 ～新発見考古速報展～」
7 月	特別展「つものつかぶとむし」	5 月	入館者 210 万人を突破	10 月	入館者 250 万人を突破
9 月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	10 月	特別展「中山道街道 400 年」	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 11 年 7 月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	平成 15 年 7 月	特別展「昭和くらしの歩み～ 30 年代を中心に～」	平成 20 年 5 月	日本生命財団から図書 岐阜県博物館総合案内」 3, 800 冊の寄贈を受ける
9 月	入館者 190 万人を突破 特別展「恐竜時代」	9 月	特別展「野の幸・山の幸 岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」	9 月	特別展「骨のあるやつ」
10 月	特別展入館者 4 万人突破 特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を	10 月	入館者 220 万人を突破	11 月	文化の日博物館無料開放
		平成 16 年 7 月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	平成 21 年 9 月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」
		9 月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオタカびゅーん～」	10 月	入館者 260 万人を突破
		平成 17 年 4 月	高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）	11 月	文化の日博物館無料開放
		5 月	入館者 230 万人を突破	平成 22 年 7 月	特別展「川ーカワ・イイね！～流れが作り出す自然～」
				平成 23 年 9 月	開館 35 周年記念特別展 「濃尾震災 120 年」
				11 月	文化の日博物館無料開放 入館者 270 万人を突破

5 歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏 名		在職期間（年度）	氏 名
1	昭和 51 年	小 幡 忠 良	12	平成 9 年 ～ 平成 10 年	高 田 晃
2	昭和 52 年 ～ 昭和 54 年	松 尾 克 美	13	平成 11 年 ～ 平成 12 年	遠 藤 祐 神
3	昭和 55 年 ～ 昭和 56 年	大 橋 桃之輔	14	平成 13 年 ～ 平成 14 年	高 橋 宏 之
4	昭和 57 年 ～ 昭和 58 年	吉 本 幹 彦	15	平成 15 年 ～ 平成 16 年	武 山 枳 司
5	昭和 59 年	関 谷 美智男	16	平成 17 年	下 畑 五 夫
6	昭和 60 年 ～ 昭和 61 年	廣 田 照 夫	17	平成 18 年	古 川 和 明
7	昭和 62 年 ～ 昭和 63 年	森 崎 利 光	18	平成 19 年 ～ 平成 20 年	高 屋 一 行
8	平成元年 ～ 平成 2 年	伊 藤 秀 幸	19	平成 21 年	浅 野 裕 司
9	平成 3 年 ～ 平成 4 年	篠 田 幸 男	20	平成 22 年	石 田 克
10	平成 5 年 ～ 平成 6 年	横 山 勢津男	21	平成 23 年 ～	河 合 正 明
11	平成 7 年 ～ 平成 8 年	清 水 廣 美			

6 設備・施設

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)			
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0			
	第2収蔵庫	126.0						
	第3収蔵庫	192.0						
	第4収蔵庫	99.4						
	第5収蔵庫	55.0						
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室 控	202.3 25.3 18.5			
	自然展示室2	478.8						
	郷土学習室	95.4						
	講義室	174.5						
	研修室	93.2						
	第6収蔵庫	142.8						
4階	人文展示室1	942.3	3階	ハイビジョンホール 調整室	192.3 47.0			
	人文展示室2	478.8						
	特別展示室	193.2				4階	収蔵庫等	281.3
	図書資料室	232.2						
	特別収蔵庫	142.8						
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7			

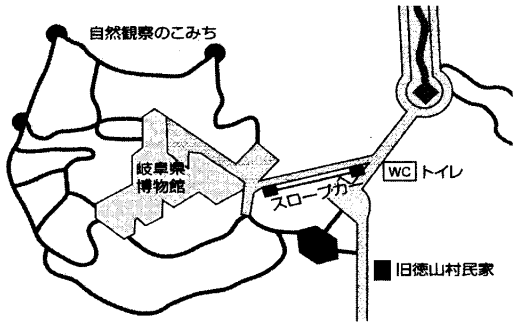
(2) 館外施設

①自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が 3 か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。

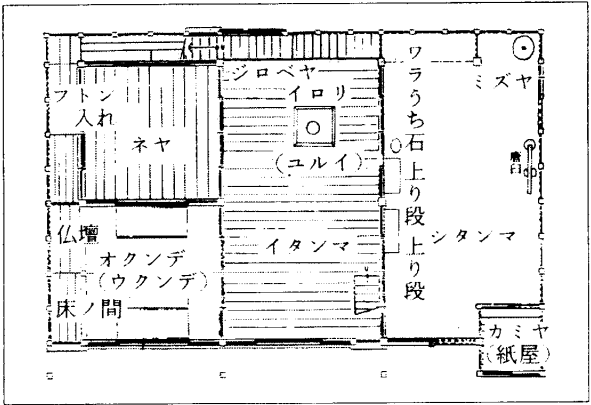


自然観察のこみち

②旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和 62 年 10 月 7 日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成 13 年 9 月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

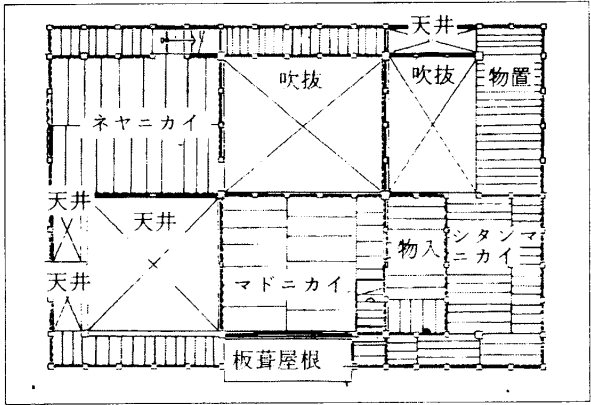
- ・様式：木造かやぶき 2 階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97 ㎡
- ・延面積：197.48 ㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1 階間取り図



旧徳山村民家

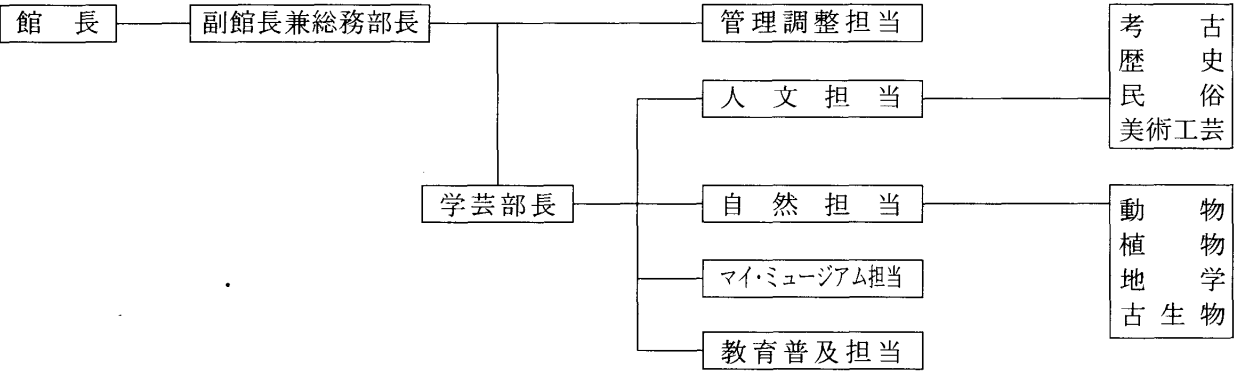


▲ 2 階間取り図

II 平成 23 年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名
館 長	河 合 正 明	【学 芸 部】		【マイ・ミュージアム担当】	
副館長兼総務部長	加 藤 英 夫	学 芸 部 長	大 澤 洋 司	課 長 補 佐	加 藤 信 男
【総 務 部】		[人 文 担 当]		"	後 藤 秀 樹
[管理調整担当]		課長補佐(歴史)	山 田 昭 彦	[教育普及担当]	
課 長 補 佐	田 中 実	" (考古)	長 屋 幸 二	課 長 補 佐	竹 村 宗 近
主 任	野 村 高 広	主 査 (民俗)	南 本 有 紀	"	酒 井 立 人
"	尾 関 睦 治	主 任 (美術工芸)	守 屋 靖 裕	主 査	澤 村 雄 一 郎
"	野 田 路 世	[自 然 担 当]		学芸業務専門職	石 井 昭 司
管理業務専門職	米 田 美 里	課長補佐(地学)	西 谷 徹	"	野 田 恵 光
"	岡 友 恵 ～ 5.31	" (植物)	船 戸 智		
"	中 塩 優 子	主 査 (動物)	説 田 健 一		
"	藤 田 敦 子	学芸業務専門職(古生物)	久 保 貴 志 7.1～		
"	米 倉 響 子				
"	中 嶋 睦 美				
"	福島江里菜 6.1～				
雇 員	名 知 佐 和 子				

(3) 異動

転 出 者	館 長	石 田 克 治	転 入 者	館 長	河 合 正 明
	総 務 部 長	井 上 幸 一		副館長兼総務部長	加 藤 英 夫
	課 長 補 佐	溝 口 賢 彦		課 長 補 佐	田 中 実
	"	千 藤 克 彦		"	船 戸 智
	"	浦 崎 太 郎		主 査	澤 村 雄 一 郎
	主 査	山 田 美 樹		主 任	野 村 高 広
	学芸業務専門職	山 本 義 明		学芸業務専門職	野 田 恵 光
	"	桂 嘉 志 浩		"	久 保 貴 志
	管理業務専門職	西 部 真 由 美		管理業務専門職	米 倉 響 子
	"	小 泉 あゆみ		"	中 嶋 睦 美
	"	岡 友 恵		"	福 島 江 里 菜

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏 名	現 職 名
小 川 美 和	岐阜県PTA連合会母親委員
清 田 善 樹	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
興 英 樹	公募委員
後 藤 真 澄	中学学院大学人間福祉学部教授
◎古 屋 康 則	岐阜大学教育学部准教授
砂 押 宏 行	NHK岐阜放送局長
高 木 洋	日本考古学協会員
長 瀬 秀 子	岐阜県小中学校長会 員 関市武儀東小学校長
野 口 宏	中日新聞岐阜支社長
野 尻 純 司	岐阜放送報道制作局長
安 田 たか子	安田学園虹ヶ丘幼稚園長
山 田 京 子	岐阜県博物館友の会理事

- (開催状況)
- 月 日 11月9日(水)
- 場 所 岐阜県博物館 講 堂
- 議 題
- (1) 博物館の現状報告
- ・改修・修繕工事について
 - ・博物館の活動について
- (2) 協議事項
- ・地震等の自然災害への対応について
 - ・平成24年度の特別展等について
- 主な質疑事項
- ・博物館の地震対策について
 - ・博物館への公共交通アクセスについて
 - ・入館者数について
 - ・総合博物館における企画展について

◎会長 (平成24年3月2日現在 五十音順・敬称略)

任期は平成22年9月24日から平成24年9月23日

3 日誌抄

4. 1 人事異動に伴う辞令交付

3 アジアの旅のひろいもの～中国の水滴・俑・面・陶器～(～5/8)

10 ギフチョウ観察会

17 家族で春の里山ウォッチング

20 里山ウォッチング

23 資料紹介展「赤坂金生山～新川化石コレクション～」(～6/26)

24 木でこいのぼり・五月人形をつくろう

29 講演会「化石トリビア～金生山～」

5. 1 謡曲入門

3 石でアクセサリをつくろう

4 春のグリーンアドベンチャー

8 古文書入門(1)

15 石を割って化石を見つけよう

18 里山ウォッチング

21 思いを繋ぐ百徳きもの展(～6/26)

22 化石のレプリカを作ろう

29 魚の捕り方教えます～ビオトープの魚調べ～

6. 4 百徳キルトカードをつくろう

5 化石のペーパーウェイトをつくろう

11 わくわく体験「菖蒲まつり」(1)

12 わくわく体験「菖蒲まつり」(2)

15 里山ウォッチング

19 楽しい折り紙教室

26 おいでよ！博物館

7. 2 古文書入門(2)

3 夏の小川で魚捕り

9 資料紹介展「昆虫の世界～色と形の不思議～」(～9/11)

9 懐かしのヒーローズ～子どもの頃の宝物～(～8/21)

17 家族で夏の里山ウォッチング

18 おもしろく動く恐竜・からくり木工

24 蝶の羽の模様を写し取ろう

30 家族でナイトウォッチング

31 火おこし器をつくろう

8. 6 まが玉をつくろう

7 家族でナイトウォッチング

13 ギャラリートーク「懐かしのヒー
- ローズ」

14 化石のレプリカをつくろう

17 里山ウォッチング

21 家族で昆虫標本をつくろう

27 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(1)

28 家族で昆虫標本をつくろう

9. 3 古伊万里そば猪口展(～10/10)

3 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(2)

4 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(3)

15 発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」(～H241/15)

13 開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」(～11/13))

18 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(4)

19 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(5)

19 陶芸に挑戦！～ネームプレートをつくろう～(6)

23 阿寺断層の秘密

25 おいでよ！博物館

10. 2 骨のかたちから生きざまを探る(1)

9 木の実で遊ぼう

15 わくわく体験「オータムフェスティバル」(1)

16 わくわく体験「オータムフェスティバル」(2)

16 家族で秋の里山ウォッチング

19 里山ウォッチング

22 バードカービング～野鳥の木彫りアート～(～11/27)

23 古文書入門(3)

28 濃尾地震を体験しよう地震体験車(1)

29 濃尾地震を体験しよう地震体験車(2)

30 濃尾地震を体験しよう地震体験車(3)

30 バードカービング制作実演(1)

11. 3 特別展講演会「活断層と地震」

3 わくわく体験「秋まつり」
- 3 バードカービング制作実演(2)

3 バードカービング制作実演(3)

6 断層巡礼～阿寺系～

6 バードカービング制作実演(4)

13 断層巡礼～根尾谷系～

15 発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」(～H241/15)

16 里山ウォッチング

19 まが玉をつくろう

20 徳山のくらしを体験しよう

23 骨のかたちから生きざまを探る(2)

27 木で来年の干支(辰)をつくろう

12. 4 まが玉をつくろう

10 西美濃の郷土画家展(～H241/22)

21 里山ウォッチング

25 骨のかたちから生きざまを探る(3)

1.6 春の七草ウォッチング

7 七草がゆを食べよう

17 津保川でカモを観察しよう

18 里山ウォッチング

22 骨のかたちから生きざまを探る(4)

2. 11 精密イラストレーション～世界の名車・蒸気機関車～(～3/20)

11 日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼2011～2012」(～3/25)

15 里山ウォッチング

18 精密イラストレーション実演(1)

19 家族で冬の里山ウォッチング

25 精密イラストレーション実演(2)

25 自然科学写真講座(1)

26 骨のかたちから生きざまを探る(5)

3. 3 精密イラストレーション実演(3)

10 精密イラストレーション実演(4)

10 自然科学写真講座(2)

11 古文書入門(4)

17 自然科学写真講座(3)

18 百年公園の自然調査報告会

20 おいでよ！博物館

21 里山ウォッチング

25 骨のかたちから生きざまを探る(6)

4 実施事業の概要

「文化の継承と発展 ～県民が郷土の過去を理解し、現在を把握し、未来を展望できるよう、環境を整えます。すなわち、岐阜県の自然をこよなく愛し、文化の継承と発展に寄与できるように支援します。～」を平成 23 年度のミッションとして、特別展や資料紹介展などの企画展、マイミュージアムギャラリーの展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として 93 回の催事、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。また、支援型アウトリーチ事業「郷・豊夢プロジェクト」の完成年度として、中学生が主体になって研究した成果を「阿寺断層の秘密」として当館で発表したほか、現地観察会「断層巡礼－阿寺系－」では、案内役を務めるなど事業の成果を形として残すことができた。

今年度、1 月 23 日～2 月 10 日を休館とし、展示室等の改修工事を実施した。具体的には、自然展示室 1・2 の古くなったコーナーサイン、写真、データ、展示資料等の更新、人文展示室 1 の国分寺模型の改修、郷土の百年コーナーの年表・写真の追加を行った。また、特別展示室の C ケースも最新のものに更新した。さらには、開設して 10 年になるスロープカーのケーブルを新規のものに取り替えた。また、収蔵資料データベースが完成し、24 年度からはデータベースシステムでの資料管理が可能となった。

当館事業ではないが、東日本大震災で被害を被った岩手県陸前高田市立博物館のレスキュー活動として、民俗担当職員 1 名の現地派遣と植物担当職員による押し葉標本 100 点の修復作業を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文関係では、人文展示室 1 及び 2 の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを約 30 回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。自然関係では、自然展示室 2 の可変展示コーナーで世界の三葉虫を独立ケースで実施した。また、人文展示室 1 において第 20 回岐阜国体の資料について紹介するコーナーを設けた。	—
特別展 「開館 35 周年記念特別展 濃尾震災 120 年」	9/13 (火) ～ 11/13 (日)	開館 35 周年と濃尾震災から 120 年を機会に、濃尾震災について人文、自然両分野から紹介した。関連事業として、小井土由光氏を講師に迎え「活断層と地震」と題して講演会を開催した。また、「断層の見学会」や地震体験車を利用した「防災体験」も実施した。	14,939
資料紹介展 「赤坂 金生山 ～新川化石コレクション～」	4/23 (土) ～ 6/26 (日)	大垣市の北西に位置する金生山は、日本の古生物学発祥の地とも呼ばれ、多くの貴重な化石が採集されている。この展示では、化石収集家の新川教氏所蔵の資料を中心に紹介した。また、新川氏を講師に迎え「化石トリビア～金生山～」と題して講演会を実施した。	10,805
資料紹介展 「昆虫の世界～色と形の不思議～」	5/29 (土) ～ 7/19 (月・祝)	地球上で最も繁栄している動物といわれる昆虫の中から、色や形が面白い様々な世界の昆虫を紹介した。昆虫が自然の中で懸命に生きている様子を習性や体の形、色から浮き彫りにした。また、百年公園で採集した昆虫等も併せて展示した。	8,975
発掘速報展 「発掘された飛騨・美濃の歴史」	11/15 (火) ～ 1/15 (日)	岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を紹介した。飛騨市中野大洞平遺跡・西ヶ洞廃寺跡をはじめ県内 6 箇所の遺跡からの出土品を中心に展示した。	3,199
第 32 回日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼 2011-2012」	2/11 (土・祝) ～ 3/25 (日)	動植物・水中・気象・地形・風景・顕微鏡写真などを当館の実物資料を交えながら紹介した。自然の中の不思議さ、自然と人間の関わり、自然の大切さ等を考える機会とした。	4,178
マイミュージアムギャラリーの展示	(P14 参照)	「アジアの旅のひろいもの」をはじめ 7 回の展示会を実施した。	—

(1) 展示活動

特別展・資料紹介展・マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、企画展に関連した遺物・遺跡、濃尾震災に関する歴史資料の調査研究を行った。また、24 年度特別展関連の文化財や人間国宝に関する調査も実施した。自然分野では、企画展に関連した地震関係、高山植物、昆虫についての調査研究を行った。モニタリングサイト 1000 里地調査も継続して行った。マイ・ミュージアムでは、当館 HP の更新を研究し、収蔵品ギャラリーの新設などを行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、中津川市の方から鐔等、県外の方から体験資料として石器等の寄贈を受けた。自然分野では、動物の骨格・はく製標本を委託作成した。また、県内植物標本、県内動物標本などの資料の寄贈を受けた。

(4) 教育普及活動

学校との連携では、学校現場の要望に応え、体験学習を主とした生活科・社会科・理科の小学生向け学習プログラムを開発し、公園・館内で実践・検証を行った。また学校への出前授業や、教員研修会等への講師派遣を多く行った。郷土学習室を会場とした「わくわく体験コーナー」は縮小したが、その分展示解説の時間を増加した。

また、百年公園、サポーター、当館が協力し、公園の里山を活用した新たな体験活動を開発するために組織した「百博会」を年 5 回開催した。

〔開館 35 周年記念 特別展〕

1 展覧会名

「濃尾震災 120 年」



小国政筆「岐阜県愛知県大地震実況」(博物館蔵)

2 開催期間

平成 23 年 9 月 13 日(火)～11 月 13 日(日)

3 主催

岐阜県博物館

4 共催

岐阜新聞・岐阜放送

5 後援

NHK岐阜放送局

6 趣旨

濃尾地震は、日本内陸部で発生した地震では最大級の規模であり、濃尾震災は近代日本が直面した初の大規模地震災害であった。

この濃尾震災から起算して平成 23 年(2011)は 120 年目にあたる。この機会に、濃尾震災に関する資料を展示するとともに、自然科学、人文科学双方からのアプローチによって濃尾震災を解明し、地震のメカニズムや猛威、それに向き合う人々の姿を浮き彫りにした。この展示をとおして、これからの地震対策について、もう一度家庭や地域の視点から考える機会を提供した。

7 展示構成

(1) 濃尾地震が起きた仕組み

濃尾地震をはじめ地震が起こる仕組みと、地震を記録する機器の進歩について紹介した。また、地震国といわれる日本で生きていく上で、地震を正しく理解することの意義について考察した。

(2) 濃尾震災の惨状

濃尾地震の発生状況を示すとともに、当時の人々が惨状をどのように、感じ、受け止めたかを読み解いた。

(3) 人・社会はどうしたのか

濃尾震災の惨状が伝わるなかで、人々・社会はいかなる対応をとったのか、救援から復興に至る過程を描出した。

(4) 心に刻まれたこと

濃尾震災の時代背景を考えつつ、地震に対する日本人の伝統的な感じ方を、情報伝達・教育などを切り口として指し示した。

(5) 語り継ぐ

震災を経験するなかで、人々は「何を語り継ぐのか」、時間の経過、記憶の風化に対して人々はどうのように向き合ったのかを、描出した。

(6) 断層を素材とし地域を担う人づくりにつなげた社会教育

坂下公民館(中津川市やさか地区)の「阿寺断層研究会」の活動をとおして、地域が発信する社会教育活動のモデルを紹介した。

(7) 減災に向けた備え

地震への関心が高まった現在、巨大地震に備え、私たちが取りうる対策について展示、紹介した。

8 関連事業

(1) 特別展講演会「活断層と地震～活断層がもたらす地震とわれわれの生活～」

講師 小井土由光(岐阜大学教授)

11 月 3 日(木・祝)13:30～15:00

(2) 特別展関連事業

① 講演会「阿寺断層の秘密」

講師 阿寺断層研究会

9 月 23 日(金・祝)13:30～15:00

② 防災体験「濃尾地震を体験しよう」

・地震体験車による地震体験

・関市救命機動車「あんしん号」展示

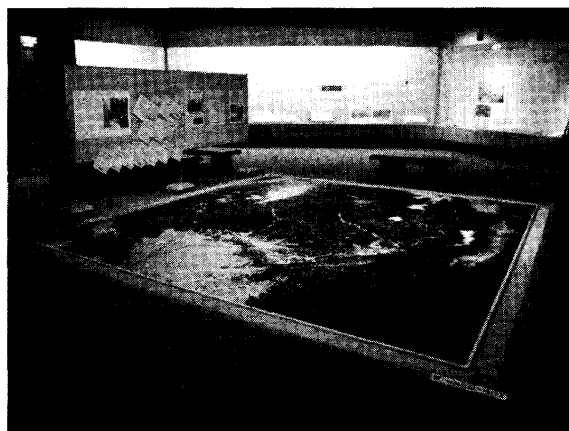
10 月 28 日(金)～30 日(日)

11:00～12:00、13:00～15:00

③ 県内の断層バス見学会「断層巡礼」

11 月 6 日(日)阿寺系

11 月 13 日(日)根尾谷系



展示会場の様子

〔資料紹介展 1〕

1 展覧会名

「赤坂 金生山～新川化石コレクション」

2 開催期間

平成 23 年 4 月 23 日（土）～ 6 月 26 日（日）

3 主催

岐阜県博物館

4 協力

岐阜県図書館、豊橋市自然史博物館、金生山石灰鉱業組合、金生山明星輪寺、貝沼大理石商店

5 趣旨

大垣市の北西に位置する標高 217m の金生山。古くから石灰石の産地として知られ、今も良質な石灰石が採掘されている。金生山は日本の古生物学発祥の地とも呼ばれ、採集される化石は保存状態も良く、多くの研究者や収集家の関心を集めてきた。本展では、化石収集家である新川教（にいかわ・たかし）氏所蔵の貴重な化石の展示を通して、金生山の地質学的な価値を再認識していただくことを目的とした。

6 展示構成

(1) 金生山の化石

古生代ペルム紀の海で繁栄した生き物たちの化石資料を現生種の標本と比較しながら紹介した。

(2) 金生山の鉱物

鍾乳石や方解石など、石灰岩の大地がつくり出した鉱物資料を紹介した。

(3) 金生山の歴史・文化・産業

良質の石灰岩と豊富な化石を産んだ金生山の地質学的な歴史を紹介した。

(4) 金生山の地史

石灰岩や鉄鉱石などの鉱山として栄えた町「赤坂」その採掘の歴史と産業、そしてそこに生活する人々との関わりを紹介した。

(5) 体験コーナー

微化石の顕微鏡観察、方解石の複屈折や砂鉄の磁性を調べる体験など、金生山産の資料を用いた体験コーナーを用意した。

7 関連事業

(1) 講演会「化石トリビア～金生山～」

化石や鉱物など、金生山の貴重な資料について新川氏に講演していただいた。

講師：新川教氏

4 月 29 日（金・祝）

(2) 石でアクセサリーをつくろう

小型巻貝化石を含む金生山産の石灰岩でペンダントなどを製作する体験を提供した。

講師：当館学芸員

5 月 3 日（火・祝）

(3) 石を割って化石を見つけよう

金生山をはじめとする県内産の石から化石を取り出す体験を提供した。

講師：当館学芸員

5 月 15 日（日）

(4) 化石のレプリカをつくろう

三葉虫やアンモナイトなどの実物化石からレプリカを製作する体験を提供した。

講師：当館学芸員

5 月 22 日（日）

(5) 化石のペーパーウエイトをつくろう

フズリナやウミユリ化石を含む金生山産の石灰岩を磨いてペーパーウエイトを製作する体験を提供した。

講師：当館学芸員

6 月 5 日（日）



展示会場の様子



講演会で講演する新川氏

〔資料紹介展2〕

1 展覧会名

「昆虫の世界～色と形の不思議」

2 開催期間

平成23年7月9日(土)～9月11日(日)

3 趣旨

昆虫は地球で最も繁栄している動物である。その種類は100万種を超え、地球上の動物の80パーセント以上を占めている。多様な食性をもつ昆虫は、小さな体と優れた運動能力とともにあらゆる環境下に生活の場所を広げた。

今回の資料紹介展では、色や形が面白い様々な昆虫を展示し、小さな体に秘められた謎にせまった。あわせて、サポーターのみなさんと一緒に調査した岐阜県百年公園の昆虫についても紹介した。



展示会場の様子

4 展示構成

(1) 昆虫とは

昆虫の体の仕組みやその特徴を紹介する。

① いろいろな節足動物

三葉虫、カブトガニ、イセエビ、サソリモドキなど

② いろいろな昆虫

テリオウゼミ、オニヤンマ、ガロアムシなど

(2) 色と形の不思議

昆虫が自然の中で懸命に生きている様子を習性や体の形、色から浮き彫りにする。

① ひそむ

コノハムシ、カマキリ、コノハチョウ

② おどす

大きな目玉模様を持つチョウなど

③ めだつ

トリバネアゲハ、ベニモンアゲハなど

④ たたかう

カブトムシ、クワガタムシなど

⑤ ひかる

モルフォチョウなど

(3) 百年公園の昆虫

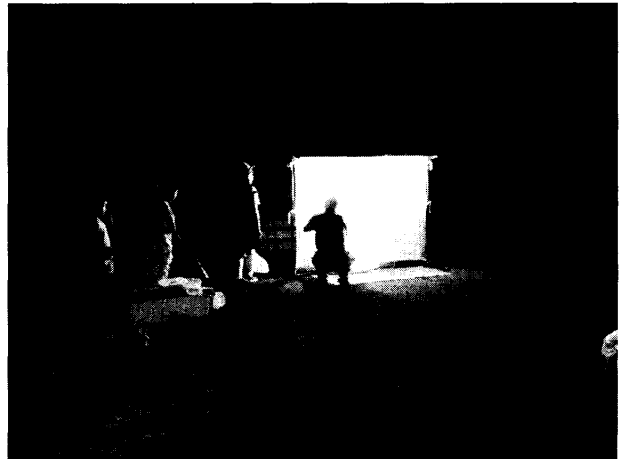
ライトトラップで採集された昆虫とモニタリングサイト1000里地調査で確認されたチョウを紹介する。

① モニタリングサイト1000里地調査

百年公園で見られるチョウ類

② 夜蝶の会

ライトトラップで採集した蛾や甲虫



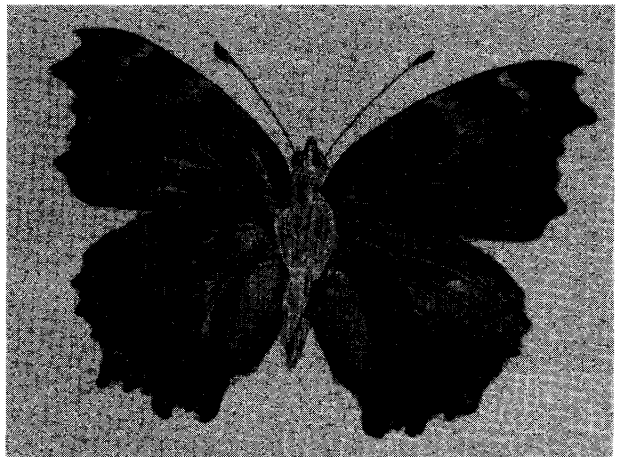
ライトトラップで昆虫採集

5 関連事業

(1) 蝶の羽の模様を写し取ろう

7月24日(日) 13:30～15:30

講師：当館学芸員



ヒオドシチョウ(鱗粉転写)

(2) 家族で昆虫標本をつくろう

8月21日、28(日) 10:00～15:00

講師：当館学芸員

〔岐阜県文化財保護センター発掘速報展〕

1 展覧会名

「発掘された飛騨・美濃の歴史」

2 開催期間

平成23年11月15日（火）～平成24年1月15日（日）

3 主催

岐阜県博物館 岐阜県文化財保護センター

4 趣旨

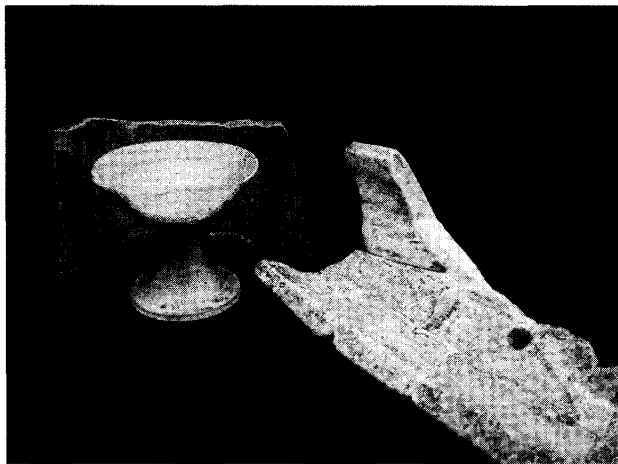
岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を広く県民に紹介する展覧会。今回は岐阜市中屋敷遺跡・中屋敷古墳における古代・中世・近世の集落と古墳とのかかわり方を示す資料に着目し、「昔の人々は、文化財をどのように見て、考え、係わってきたか」をテーマに据えて展示を構成した。

5 展示構成

(1) 岐阜市中屋敷遺跡・中屋敷古墳

古墳の横穴式石室で、飛鳥時代の瓦を用いた祭りの跡が見つかった。飛鳥時代の人達にとってこの古墳は祖父か曾祖父の代の墓であり、祭りの対象であった。中世・近世にも横穴式石室を壊さぬよう集落が展開していたことを示した。また、長良川を介した物流を物語る常滑焼の大甕や肥前焼などを展示した。

【主な展示資料】古墳の石室や建物跡から見つかった古代瓦、須恵器、常滑焼大甕、土鈴 ほか



横穴式石室の祭祀跡出土資料（中屋敷古墳）

(2) 飛騨市中野大洞平遺跡・西ヶ洞廃寺跡

縄文・弥生・奈良時代の竪穴建物跡出土資料から、道具や暮らしぶりの移り変わりを示した。また、縄文時代の建物跡から使い込まれた磨製石斧が5本も見ついている。木材加工用の磨製石斧が多いのは飛騨の特徴であり、独立ケースでトピック的に取りあげた。

【主な展示資料】各時代の竪穴建物跡から出土した縄文土器片、弥生土器、土師器甕、磨製石斧 ほか

(3) 高山市三枝城跡

城山の麓から古代の礎石建物跡とともに仏具等が見つかり、古くから信仰の場であったことがわかっている。山城を築く場として聖なる山が選ばれたことを示した。また、礎石建物跡周辺から見つかった鉄釘は、材木を傷めない高度な技術で作られたものであった。小学校5年生の国語科で古代の鉄釘復元を扱う教材があり、教科書を展示室に準備して子供の知識と事象を結びつけられるよう留意した。

【主な展示資料】弥生時代前期の壺、漆塗りの鉄鉢型須恵器、鉄釘、山城の飛礫 ほか

(4) 多治見市東町3・4号古窯跡

窯で陶器を焼く際に置く台や失敗品など室町時代の窯にかかわる資料から、陶器生産の様子を示した。

【主な展示資料】焼台などの窯道具、熔着した小皿 ほか

(5) 美濃加茂市深渡A地点遺跡

今回の調査では建物跡等は見つからなかったが、こうした調査の積み重ねにより遺跡の範囲などがわかることを示した。

【主な展示資料】室町時代の陶器片 ほか

(6) 笠松町手斧猿尾

猿尾は水勢を弱めて堤を守る施設であり、その性格上出土品は少ない。調査の様子をパネルにて紹介した。

【主な展示資料】掘り鉢の破片

6 関連事業

展示解説

11月26日（土）・27日（日）1月7日（土）・8日（日）
各日2回 文化財保護センター職員、博物館学芸員が行った。



展示解説の様子

〔第 32 回日本自然写真協会写真展〕

1 展覧会名

「自然を楽しむ科学の眼 2011-2012」

2 開催期間

平成 24 年 2 月 11 日（土）～ 3 月 25 日（日）

3 後援

環境省

4 趣旨

科学の眼を通して、自然と向き合うことの楽しさと感動を多くの方々に伝えるために、日本自然科学写真協会（SOCIETY OF SCIENTIFIC PHOTOGRAPHY 略称 SSP）では、毎年「写真展」を開催している。この協会は、自然写真・科学写真の撮影に関わるプロやアマチュアの写真家、研究者、教育関係者等の呼びかけにより 1978 年に発足した団体であり、以来科学写真の文化向上と発展のために、活動を行っている。今回で第 32 回を迎えるこの写真展では、動植物、水中、自然風景、顕微鏡、天体等の多彩な分野の自然科学写真を展示した。自然の中の不思議さ、自然と人間との関わり、そして自然の大切さが伝わってくる作品が数多く並んだ。

5 展示構成

広大な自然の風景や、動植物が見せる驚きの瞬間を捉えた作品など計 150 点を、7 つのコーナーに分類して展示した。また、作品に関連した当館実物資料や、科学写真の仕組みを学ぶ体験展示を用意し、来館者の理解を深める工夫を凝らした。



体験コーナーの様子

(1) 顕微鏡・科学

「木材の組織パターン」（撮影：竹村嘉夫）など 15 点

(2) 水中・水棲生物

「エチゼンクラゲの天敵」（撮影：横山和男）など 16 点

(3) 昆虫類・節足類

「クロナガアリ」（撮影：栗林慧）など 42 点

(4) 鳥類

「ブラックバスを持ち帰るオオワシ」（撮影：藤井恒）など 15 点

(5) 哺乳類・両生爬虫類

「エサを探すケープギツネ」（撮影：山形豪）など 10 点

(6) 植物・菌類

「ツキヨタケの発光」（撮影：林明輝）など 11 点

(7) 山岳・天体・自然風景

「風が正面衝突（ヒマラヤ）」（撮影：川口邦雄）など 41 点

6 関連事業

SSP 県内会員である常川 真氏による「自然科学写真講座」を企画し、展示解説をしていただいたり、野外で写真撮影を通して見えてくる自然のすばらしさや、科学写真を撮るためのヒントやコツを教えていただいたりして、好評を得た。



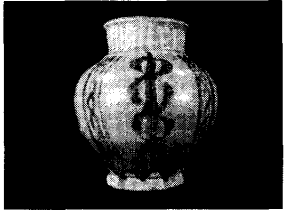
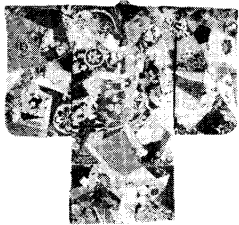
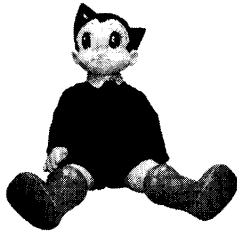
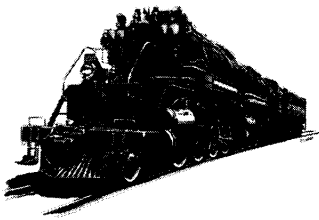
常川氏による展示解説の様子



野外における撮影会の一コマ

[マイミュージアムギャラリー]

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	アジアの旅のひろいもの ～中国の水滴・俑・面・陶器～ 出展者 田中照子（岐阜市） 平成 23 年 4 月 3 日（日） ～ 5 月 8 日（日）	日本画家である出展者が、アジア各国のスケッチ旅行をした際に収集した、珍しい美術品のコレクション展。中国の水滴、唐代の陶製人形（俑）や、ネパールの魔よけ面、民俗楽器などを展示した。また、国内の著名な陶芸家や日本画家の作品も展示した。	
2	思いを繋ぐ百徳きもの展 出展者 百徳キルトの会 講師 呉山裕子（金沢市） 服部嵩子（関市） 平成 23 年 5 月 21 日（土） ～ 6 月 26 日（日）	金沢に江戸時代から伝わる百徳着物を現代に伝えることを目的に設立された百徳キルトの会 47 名のパッチワークキルトの作品展。百徳着物、百徳ちゃんちゃんこ、パッチワークタペストリー、小物など約 130 点展示した。 ■講座「百徳キルトカードをつくろう」 日時 6 月 4 日	
3	懐かしのヒーローズ ～子どもの頃の宝物～ 出展者 加納八郎（揖斐川町） 平成 23 年 7 月 9 日（土） ～ 8 月 21 日（日）	鉄腕アトム、鉄人 28 号を中心とした昭和 40 年代のアニメヒーローグッズのコレクション展。ソフトビニルやブリキの人形、ゲーム、お菓子のおまけ、シールなど懐かしい品々を約 1,000 点展示した。 ■実演「ギャラリートーク」 日時 8 月 13 日	
4	古伊万里 そば猪口展 出展者 高柳龍志（恵那市） 平成 23 年 9 月 3 日（土） ～ 10 月 10 日（月・祝）	江戸時代、向付として用いられ、後にそばのつゆ入れとして人気になったそば猪口のコレクション展。1,800 点以上のコレクションから選りすぐりの 5 客揃いのそば猪口を中心に、繊細で美しい絵柄やクルス文様などの珍しい逸品など 575 点展示した。	
5	バードカービング ～野鳥の木彫りアート～ 出展者 河合正樹（笠松町） 平成 23 年 10 月 22 日（土） ～ 11 月 27 日（日）	カモを中心とした水鳥をはじめ、様々な野鳥を忠実に再現した木彫り作品展。日本バードカービング協会コンクールで上位入賞の実力をもつ出展者がリアルに彫り上げ彩色した作品を約 100 点展示した。 ■実演「バードカービング実演」 日時 10 月 30 日、11 月 3 日、11 月 6 日	
6	西美濃の郷土画家展 出展者 益田靖夫（池田町） 平成 23 年 12 月 10 日（土） ～平成 24 年 1 月 22 日（日）	岐阜県の西濃、美濃地方に縁のある郷土画家の作品のコレクション展。美濃市出身の村瀬秋水、揖斐川町出身の野原桜州、神戸町出身の高橋杏村などの南画家の書画や池田町出身の河村目呂二、美濃加茂市ゆかりの岡本一平の作品など約 80 点展示した。	
7	精密イラストレーション ～世界の名車・蒸気機関車～ 出展者 野倉暢州（岐阜市） 平成 24 年 2 月 11 日（土・祝） ～ 3 月 20 日（火・祝）	海外のクラシックカーや蒸気機関車を写実的に描いたイラストの作品展。パソコンで制作した幾何学的なグラフィックアート作品、手作りの立体組み木オブジェなどを約 100 点展示した。 ■実演「精密イラストレーション実演」 日時 2 月 18 日、2 月 25 日 3 月 3 日、3 月 10 日	

2 出展者による講座・実演等の開催

観覧者と出展者、観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験をとおして展示内容についての理解を深めてもらうために、出展者が主催者となって、講座や実演等の催しものを開催した。

(1) 第2回展示「思いを繋ぐ百徳きもの展」

講座 「百徳キルトカードをつくろう」

日時 6月4日(土) 13:30～15:30

講師 呉山裕子氏

場所 講堂



「百徳キルトカードをつくろう」の様子

主婦層を中心に、多くの参加者があった。数枚の華やかな着物のきれ端をパッチワークで仕上げ、着物の形に切りぬいた和紙をあてたカードを作成した。呉山氏は一人ひとりに丁寧に指導されていた。参加者は、額に入れた完成作品を手にも大変満足していた。

(2) 第3回展示「懐かしのヒーローズ」

実演 ギャラリートーク「懐かしのヒーローズ」

日時 8月13日(土) 13:30～14:30

講師 加納八郎氏

場所 マイミュージアムギャラリー



ギャラリートーク「懐かしのヒーローズ」の様子

子どもの頃の思い出やグッズに関するエピソードを面白おかしく語られる加納氏に、参加者は引き込まれていた。昔の懐かしい話題に、参加者同士の会話もはずみ、アットホームな雰囲気につつまれていた。

(3) 第5回展示「バードカービング」

実演 「バードカービング制作実演」

日時 10月30日(日)11月3日(木・祝)6日(日)
13:00～15:00(11/3は10:00～12:00も実施)

出演 河合正樹氏

場所 マイミュージアムギャラリー



「バードカービング制作実演」の様子

河合氏の高い技術を目の前で見ることができるということで、同様の趣味をもつ方が多く来場された。自宅で作った作品を持参し、「ここから、どうやるのか。」と作品を見せながら質問をされている方や、自分で作りたいと、メモをとりながら聞かれる姿があるなど、参加者の関心の高さが伺えた。

(4) 第7回展示「精密イラストレーション」

実演 「精密イラストレーション実演」

日時 2月18日(土) 25日(土)

3月 3日(土) 10日(土)

各日 13:00～15:00

出演 野倉暢洲氏

場所 マイミュージアムギャラリー



「精密イラストレーション実演」の様子

制作過程を提示しながら、実際の色付けを説明された。イラスト制作に興味を持つ参加者には、実際にペンを持たせ、アドバイスしながらイラストを描かせるなど、アットホームな雰囲気の中、実演会が行われた。

6 調査研究活動

(1) 人文部門

① 考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」や岐阜県文化財保護センター資料紹介コーナー、常設展示の変更にかかわる資料調査を行った。

また、特別展「濃尾震災 120 年」に関連して、震災時の避難所となった岐阜尋常小学校跡地の廃棄土坑（遺跡名は岐阜奉行所跡）出土資料や、大龍寺（岐阜市栗野）の震災碑について調査し、展示に反映させた。

イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究など

寄贈を受けた館蔵資料の多くは不時発見の採集品である。未報告資料が多いため、『岐阜県博物館調査研究報告』において継続して資料紹介を行っている。今年度は岐阜市芥見山田川河底で採集された滑石製石鍋片などの資料と、高山市上宝町在家で採集された四頭石斧片などの資料について図化し、紹介した。

芥見周辺では、近年、中世・近世などの興味深い発掘成果が得られており、当地域の歴史的景観が明らかになりつつある。今回紹介した石鍋・土師器皿等により、当地に階層の高い居住者が存在した可能性を示すことができた。多頭石斧の類例は飛騨では少なからず知られているが、四頭石斧に限ると県内で 2 例目の報告である。当資料は中央孔が断面八の字を呈するなど表裏非対称の形状で、調整も表裏で区別するなど、表裏を強く意識した精緻なつくりである。

寄贈資料の受け入れにあたっては、その資料の研究的な評価を寄贈者に示し、御礼に代えている。

② 歴史分野

ア 企画展などにかかわる調査研究

平成 23 年度特別展「濃尾震災 120 年」に関連し、いくつかの調査研究を県内外にわたりおこない、展示資料の充実に心がけた。

（ア）国立国会図書館所蔵『桂太郎自伝』の事前調査、撮影、借用をおこなった。震災当時第三師団長として名古屋に駐在した桂太郎中将の対応を伝える資料として、興味深い内容である。

（イ）国立公文書館所蔵『公文雑纂』の調査にあたった。当資料は県から内務省への報告簿冊であり、震災発生当時の県や政府の対応のあり方を考える上で大切な資料であり、展示への反映を図った。

その他、日本赤十字看護大学、岐阜県歴史資料館、岐阜地方気象台、岐阜市歴史博物館など、貴重な資料の調査、借用、展示にあたった。

イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査・研究

昨年度、集中して進めた館所蔵資料の悉皆調査作業の追加調査を実施した。また、10 回にわたる公開講座・出前講座の実施等にもとない、館蔵の古文書や県内古文書等の調査研究を進めた。今後こうした活動の掘り起こしに努め、今後の展示・調査活動に資することができるよう心がけたい。

③ 民俗分野

ア 展示にかかわる調査研究

本年は、常設展示室（人文展示室 1）の利用促進を図るべく新規テーマ展示を拡充した。いずれも「郷土の百年」コーナーの、昔の道具コーナーと岐阜国体コーナーである。

昔の道具コーナーは、学校見学でとくに需要が多いながら、これまでコーナー展示のなかった分野であった。授業でよく取り上げられる「アイロン」「炊飯器」「洗濯機」等について、新旧の複数の道具を並べ、操作性向上の工夫や機能の進化を比較・理解できるようにした。

岐阜国体コーナーは、平成 24 年冬から秋にかけて開催される「ぎふ清流国体」にちなんで、約 50 年前に県内で実施された「岐阜国体」の特集展示である。館蔵品のほか、旧県政資料館や県歴史資料館所蔵品を借用して当時の実物資料・複製パネルを展示するとともに、国体史の一覧パネルをつくり、当該催事の歴史的な位置づけを試みた。

また、平成 24 年度企画展については、調査および借用交渉等の準備を進めている。

イ 館蔵資料にかかわる調査研究など

昨年に引き続き、第一収蔵庫内の整理を進めるとともに、本年は、第二収蔵庫についても、整理と資料の確認作業を実施した。併せて、保存用の桐箱を新たに作成するなどして、より安全な保存環境の整備に努めた。

④ 美術工芸分野

ア 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

近年外部の機関や個人から寄せられる、宗教彫刻に関する依頼・相談等が増加してきた。これらを引き受けて行う活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。平成 22 年度におけるこれらの活動を報告書「岐阜県の宗教彫刻をめぐる社会活動」としてまとめ、『論集・東洋日本美術史と現場－見つめる・守る・伝える－』（竹林舎、平成 24 年 5 月）に寄稿した。

平成 23 年度も、文化庁や県・市町村教育委員会が関与する宗教彫刻の現地調査に参加する機会を得た。専門家の目が届いていない文化財が、岐阜県にはまだ多く遺されているようである。今後も県内の文化財の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動に資するよう努めたい。

イ 平成 24 年度特別展「飛騨・美濃の信仰と造形－古代・中世の遺産－」にかかわる調査研究

標記特別展開催に向けて調査研究を行っている。

岐阜県における神道・仏教に関する文化財について調査研究を行い、出品候補目録を練り上げた。出品する文化財がそれぞれ持っている意義を発揮できるよう、特別展の中での位置づけを考慮しながらリストアップした。

そして、出品候補資料の所蔵者や管理者のところへ赴き、出品の依頼と実査を行っている。協力的なところが多く、おかげで出品の承諾を得ることができている。

並行して必要な文献と写真を探索し、入手・借用を進めている。

(2) 自然部門

① 動物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) キノコ食甲虫の生態について
- (イ) 里山林に生息する動物の生態について
- (ウ) 戦前の動物採集家および博物館標本商について
- イ 書籍・論文など
- (ア) 説田健一 2011. ～センサーカメラを使った哺乳類調査の現場より～ No.3 「2 代目参上」. モニタリングサイト 1000 里地調査速報, 7, 2.
- (イ) 向井貴彦・古屋康則・千藤克彦・説田健一 2012. 岐阜県産魚類目録の再検討. 岐阜県博物館調査研究報告, 33, 29-37.
- (ウ) 説田健一 2012. 岐阜県関市百年公園におけるソウシチョウ *Leiothrix lutea* の記録. 岐阜県博物館調査研究報告, 33, 39-40.

ウ 学会発表など

- (ア) 説田健一・松田道一 2011. 岐阜県百年公園におけるチョウ類群集と里山環境の評価. 日本環境動物昆虫学会第 23 回年次大会. 宮崎.
- (イ) 岐阜県博物館 (発表者 説田健一) 2012. 観察会からの脱皮ーモニ 1000 里地調査への参加と百博会の運営ー. 平成 23 年度第 2 回全国科学博物館協議会理事会・総会及び第 19 回研究発表大会. 名古屋.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査 (植物分野と共同)
- (イ) ダチョウ組 (動物標本作製のサークル)
- (ウ) 夜蝶の会 (昆虫の夜間採集)
- (エ) 百博会 (教育普及分野と共同)
- オ 他団体との調査活動
- (ア) 「ウシモツゴを守る会」の調査・保存活動



モニタリングサイト 1000 里地調査風景

② 植物分野

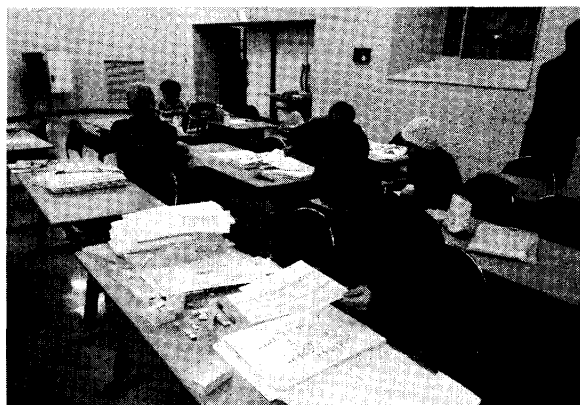
ア 主な研究テーマ

- (ア) 里山林における植生の年変動について
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- イ 書籍・論文など
- (ア) 船戸智 2012. 科学的リテラシー育成のための教材開発と実験授業の試行に関する計画案子どもの科学的リテラシーを育成する教育システム

の開発に関する実証的研究

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査 (動物と共同)
- エ 他団体との調査活動
- (ア) 岐阜県植物誌調査会 (岐阜県植物誌編纂に関わる調査研究)
- (イ) 岐阜県植物研究会 (岐阜県内における植物の調査研究)
- (ウ) 岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会 (岐阜県環境生活部清流の国ぎふづくり推進課と共同)
- (エ) 「ウシモツゴを守る会」の調査・保存活動



植物誌調査会

③ 地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 二枚貝礁の形成過程における生態学的研究
- (イ) ペルム紀後期の海洋島における軟体動物群集
- イ 書籍・論文など
- (ア) 久保貴志 2012 “シカマイア” と呼ばれる大型二枚貝の異なる複数の形態について 岐阜県博物館調査研究報告, 33, -
- (イ) T. Kubo Bivalve community change associated with oyster dominant biological community appear in tidal flat - a comparison of between Living oyster reef and Cretaceous oyster bioherm. グローバル COE プログラム「地球から地球たちへ」中間活動報告書
- ウ 学会発表
- (ア) 久保貴志 日本産 Alatochonchidae の複数の形態について 炭酸塩コロキウム 2012 静岡



シカマイア化石調査

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階で「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品を始め有形・無形の文化資源等を、デジタル化して保存等を行う業務（デジタルアーカイブ）及び、インターネット公開に係る準備業務。並びに、岐阜県博物館ホームページの管理及び運営に係る業務で構成されている。

① マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変素晴らしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示公開する場の提供と側面支援を行うことで目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって審議され、年 7 回の展示会が決定される。

なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。展示会場で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。

平成 23 年度は 7 年度からの通番で、第 124 号から第 130 号まで発行した。

ウ 博物館同人としての登録

平成 23 年度は 7 名に同人登録証を発行した。現在 116 名の同人登録がなされており、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。同人会の新美氏と白木氏は平成 23 年度の博物館主催の「催しもの講座」を開設していただいた。

エ 観覧者、出展者の意識調査の実施と分析

マイミュージアムギャラリー観覧者に展示会の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者に満足度調査を行った。調査結果の分析と考察を行い、改善につなげた。

Figure 1 に示すように観覧者の満足度は高く、効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」が 32.0%であり、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流により趣味が深められた」が 63.6%であったことから県民相互の文化情報の交流に

寄与できたものとする。更に Figure 2 から出展者の高い満足度が確認できる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目ではその存在価値を多方面の観点から価値有りという評価を 92.9% の高値で得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの平成 23 年度運営については、当初の目標を充足するものといえる。

【観覧者 満足度】

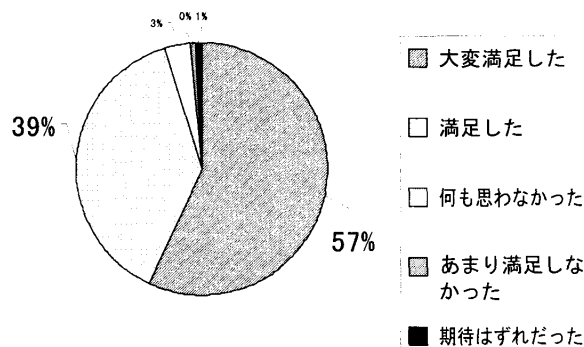


Figure 1 観覧者の満足度 (n=294 : H23 年度 5 月～3 月)

【出展者 満足度】

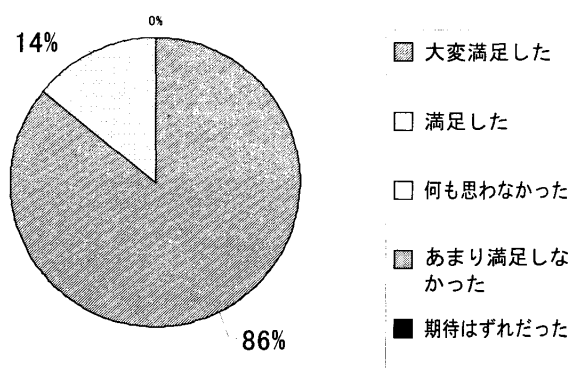


Figure 2 出展者の満足度 (n=14 : H22・23 年度)

オ 平成 24 年度の出展申し込み

古時計、犬山焼、アジアの古美術、鉄道等のコレクション、ひょうたん、ウッドバーニング、パッチワーク、絵手紙、油絵等の作品、計 13 件の申し込みがあった。コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心の喚起が期待できる内容が申し込まれた。

カ マイミュージアムギャラリー企画運営委員会開催
日時 平成 23 年 10 月 26 日（水） 10 時～11 時 30 分
場所 本館会議室

【議題】

1) 平成 23 年度の展示について

- ・本年度からマイミュージアムギャラリー観覧者アンケートを行っている。96%の観覧者が「大変満足した」「満足している」と記している。
 - ・百徳着物展では、6月期の過去最高人数（835人）を記録した。
 - ・観覧者のアンケート記述から、コレクション、作品共に質が高く、素晴らしい展示会が展開できたといえる。
- 2) 平成24年度展示計画及び今後の課題について
- ・岐阜の特産物としての陶器関係を毎年1回は入れる。
 - ・絵手紙や絵画のグループ出展については、生涯学習の成果発表の場の提供として、可能である。
 - ・手芸関係の作品については、主婦層を中心に大変人気がある。
 - ・年間をとおしての展示内容のバランスを考え、時期、地元出身に関わるも、体験型、参加型等々を考慮していきたい。

○委員の構成

	氏 名	役 職
委員	石田 克	前岐阜県博物館長
〃	岩田 仲雄	社会福祉法人万灯会 理事長
〃	内堀 實	岐阜県公民館連合会長
〃	國島 芳明	岐阜県市長会代表(高山市長)
〃	坂井 弘道	岐阜県町村会代表(富加町長)
〃	蓮見 茂夫	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	武藤 茂子	岐阜県地域女性団体協議会代表
〃	吉田 康雄	関市教育長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
〃	若宮 多門	岐阜県博物館協会会長
〃	脇坂 洋二	岐阜県議会教育警察委員会委員長

会長は吉田豊氏、副会長は若宮多門氏が就任。
(五十音順 敬称略)

② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。

他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休停止せざるを得なくなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、今年度も、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約の中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進した。

ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成21年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス（SaaS）に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成

23年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。

また、現物実査の成果を登録し、データを精緻化したことで収蔵品の電子データによる一元管理を行うことが可能となった。

イ 岐阜県博物館ホームページの運用

広報戦略の一つとして、ホームページの充実や活用は非常に重要な位置を占める。そのような認識から、当館では平成9年9月の「岐阜県博物館ホームページ」開設以後、大規模リニューアルや追加改修を重ねてきた経緯がある。

しかし、当館 WEB サーバの更新が困難になったことから、平成22年4月、共用型レンタルサーバを利用した運用に移行した。これまでの経験とレンタルサーバのブログ機能等の活用により、これまで実現してきた機能の喪失や低下を最小限に食い止めることができた。現在もブログ機能の研究を行っており、持てる機能を最大限に利用したホームページ上の表現を開発している。

平成23年度は、閲覧者が最初に目にするトップページの表現を、画像を中心とした見栄えある構成で実現した。さらに、収蔵品を紹介するページの増設や催しものの申込フォームを追加して利用者の利便性を向上させた。

以上、平成23年度はホームページの改修・改善運用が軌道に乗った一年であった。



トップページ

ウ ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図った。

また、特別展期間中の休日や祝祭日に、展覧会等に関連するDVD作品の上映を行った。

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数

① 人文分野 (平成 24 年 3 月 31 日現在) ② 自然分野 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
考 古	459
歴 史	1,379
民 俗	1,655
美 術 工 芸	1,277
合 計	4,770

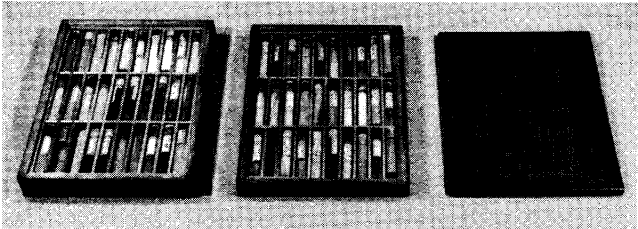
分 野	資 料 数 (件)
動 物	23,559
植 物	90,127
岩 石 鉱 物	2,001
化 石	1,580
合 計	117,267
総 合 計	122,037

(2) 平成 23 年度寄贈資料一覧

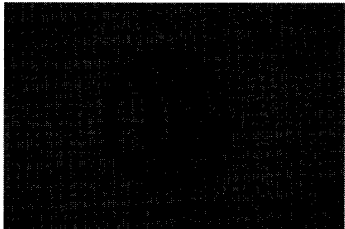
① 人文分野 ② 自然分野

資 料 名	件数
岩絵具製造販売資料	1
成木一成 丑歳鐔	1
成木一成 沢蟹之図鐔	1
成木一成 水車之図鐔	1
成木一成 鉄地共小刀「狂歌陽彫」	1

資 料 名	件数	資 料 名	件数
ゴイサギ	1	クマタカ	1
ウミユリ化石他	5	珪化木他	3
鉱物他	265	グリパニア化石	1
鉱山用カンテラ他	1		



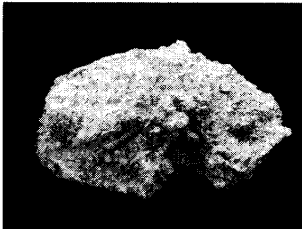
【岩絵具製造販売資料のうち絵具見本箱】



【成木一成 沢蟹之図鐔】



【珪化木】



【ウミユリ化石】

(3) 平成 23 年度購入資料一覧

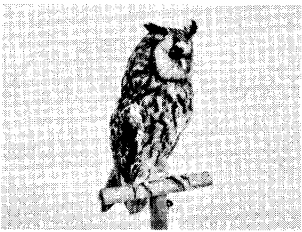
① 人文分野 ② 自然分野

資 料 名	件数	購 入 先
なし	0	

資 料 名	件数	購 入 先
ほ乳類標本	2	(有)東京内田科学社
鳥類標本	6	(有)東京内田科学社
シカマイア復元模型	2	小野輝雄



【ギフチョウ】



【トラフズク】

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催しものの開催状況

催しものは、企画展関連事業（特別展を含む・20回）やマイミュージアムギャラリー関連事業（10回）の他、自然、人文、教育普及、マイ・ミュージアムが担当する多様な講座・行事・体験活動（71回）、教員を対象とした博物館講座（4回）の計 91 回を実施した。

特別展関連事業では、岐阜大学の小井土由光教授を迎え、特別展講演会「活断層と地震」や根尾谷断層見学会「断層巡礼ー根尾谷系ー」を実施した。講演会では、活断層と地震の関係や活断層による恩恵についてご講演いただいた。断層見学会では、地震断層観察館や水鳥断層崖、中や金原の横ずれ屈曲などを訪れ、断層の仕組みや変位の大きさを観察した。

<催しものの開催状況一覧>

事業名	期 日	対 象	定 員	参 加	内 容
企 画 展 関 連 事 業	4/29	一般	50 名	49 名	講演会「化石トリビア～金生山～」
	5/ 3	一般	30 名	36 名	石でアクセサリーをつくろう
	5/15	家族	40 名	42 名	石を割って化石をみつけよう
	5/22	家族	40 名	31 名	化石のレプリカをつくろう
	6/ 5	一般	30 名	32 名	化石のペーパーウェイトをつくろう
	7/24	家族	20 名	18 名	蝶の羽の模様を写しとろう
	8/21	家族	20 名	20 名	家族で昆虫標本をつくろう
	8/28	家族	20 名	18 名	家族で昆虫標本をつくろう
	9/23	一般	130 名	43 名	阿寺断層の秘密
	10/28	一般	100 名	115 名	濃尾地震を体験しよう 地震体験車（1）
	10/29	一般	100 名	196 名	濃尾地震を体験しよう 地震体験車（2）
	10/30	一般	100 名	42 名	濃尾地震を体験しよう 地震体験車（3）
	11/ 3	一般	130 名	125 名	特別展講演会「活断層と地震」
	11/ 6	一般	40 名	38 名	断層巡礼ー阿寺系ー
	11/13	一般	40 名	37 名	断層巡礼ー根尾谷系ー
	11/19	一般	30 名	18 名	まが玉をつくろう
	12/ 4	一般	30 名	21 名	まが玉をつくろう
	2/25	一般	30 名	22 名	自然科学写真講座（1）
ギャラリー 関 連 事 業	3/10	一般	30 名	26 名	自然科学写真講座（2）
	3/17	一般	30 名	17 名	自然科学写真講座（3）
	6/ 4	一般	30 名	35 名	百徳キルトカードをつくろう
	8/13	一般	なし	20 名	ギャラリートーク「懐かしのヒーローズ」
	10/30	一般	なし	114 名	バードカービング制作実演（1）
	11/ 3	一般	なし	233 名	バードカービング制作実演（2）
	11/ 3	一般	なし	293 名	バードカービング制作実演（3）
	11/ 6	一般	なし	85 名	バードカービング制作実演（4）
	2/18	一般	なし	67 名	精密イラストレーション実演（1）
	2/25	一般	なし	49 名	精密イラストレーション実演（2）
た の し い 博 物 館	3/ 3	一般	なし	73 名	精密イラストレーション実演（3）
	3/10	一般	なし	42 名	精密イラストレーション実演（4）
	4/10	一般	20 名	22 名	ギフチョウ観察会
	4/17	家族	なし	36 名	家族で春の里山ウォッチング
	4/24	家族	40 名	14 名	木でこいのぼり・五月人形をつくろう
	5/29	家族	20 名	6 名	魚の捕り方教えます ～ビオトープの魚調べ～
	6/11	一般	100 名	87 名	わくわく体験「菖蒲まつり」（1）
	6/12	一般	100 名	248 名	わくわく体験「菖蒲まつり」（2）
	6/19	一般	40 名	38 名	楽しい折り紙教室
	6/26	家族	20 名	10 名	おいでよ！博物館
	7/ 3	家族	20 名	16 名	夏の小川で魚捕り
	7/17	家族	なし	23 名	家族で夏の里山ウォッチング
	7/18	家族	40 名	53 名	おもしろく動く恐竜・からくり木工
	7/30	家族	70 名	73 名	家族でナイトウォッチング
	7/31	家族	30 名	40 名	火おこし器をつくろう
	8/ 6	一般	30 名	25 名	まが玉をつくろう
	8/ 7	家族	70 名	70 名	家族でナイトウォッチング

事業名	期 日	対 象	定 員	参 加	内 容
たのしい 博 物 館	8/14	家族	40 名	41 名	化石のレプリカをつくろう
	8/27	一般	20 名	19 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(1)
	9/ 3	一般	20 名	9 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(2)
	9/ 4	一般	20 名	6 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(3)
	9/18	一般	20 名	11 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(4)
	9/19	一般	20 名	17 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(5)
	9/19	一般	20 名	24 名	陶芸に挑戦！－ネームプレートをつくろう－(6)
	9/25	家族	20 名	4 名	おいでよ！博物館
	10/ 9	一般	20 名	18 名	木の実で遊ぼう
	10/15	一般	100 名	138 名	わくわく体験「オータムフェスティバル」(1)
	10/16	一般	100 名	419 名	わくわく体験「オータムフェスティバル」(2)
	10/16	家族	なし	13 名	家族で秋の里山ウォッチング
	11/ 3	一般	100 名	186 名	わくわく体験「秋まつり」
	11/20	一般	200 名	150 名	徳山のくらしを体験しよう
	11/27	家族	40 名	12 名	木で来年の干支(辰)をつくろう
	12/11	一般	40 名	中止	和風をつくろう(立体風)
	1/ 6	一般	20 名	22 名	春の七草ウォッチング
	1/15	一般	20 名	3 名	津保川でカモを観察しよう
カルチャー 講 座	2/19	家族	なし	17 名	家族で冬の里山ウォッチング
	3/20	家族	20 名	12 名	おいでよ！博物館
	4/20	一般	なし	47 名	里山ウォッチング
	5/ 1	一般	30 名	7 名	謡曲入門
	5/ 8	一般	30 名	26 名	古文書入門(1)
	5/18	一般	なし	40 名	里山ウォッチング
	6/15	一般	なし	60 名	里山ウォッチング
	7/ 2	一般	30 名	24 名	古文書入門(2)
	7/20	一般	なし	中止	里山ウォッチング
	8/17	一般	なし	31 名	里山ウォッチング
	9/21	一般	なし	中止	里山ウォッチング
	10/ 2	一般	40 名	12 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(1)
	10/19	一般	なし	31 名	里山ウォッチング
	10/23	一般	30 名	25 名	古文書入門(3)
	11/16	一般	なし	37 名	里山ウォッチング
	11/23	一般	40 名	14 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(2)
	12/21	一般	なし	27 名	里山ウォッチング
	12/25	一般	40 名	14 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(3)
	1/18	一般	なし	29 名	里山ウォッチング
	1/22	一般	40 名	25 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(4)
特 別 行 事	2/15	一般	なし	22 名	里山ウォッチング
	2/26	一般	40 名	18 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(5)
博物館活用 講 座	3/11	一般	30 名	21 名	古文書入門(4)
	3/18	一般	40 名	5 名	百年公園の自然調査報告会
	3/21	一般	なし	30 名	里山ウォッチング
	3/25	一般	40 名	21 名	骨のかたちから生きざまをさぐる(6)
特 別 行 事	5/ 4	一般	300 名	213 名	春のグリーンアドベンチャー
	1/ 7	一般	200 名	191 名	七草がゆを食べよう
博物館活用 講 座	6/ 3	教員	20 名	6 名	石器づくり・火おこし体験
	6/ 9	教員	20 名	13 名	化石レプリカづくり
	7/23	教員	20 名	10 名	むかしの生活道具体験
	10/ 7	教員	20 名	5 名	五感を生かした自然観察
合 計				4,841 名	

② 団体利用

団体利用は、204 団体、11,050 人で、全入館者数の 4 分の 1 を占めている。美濃地区、岐阜地区、西濃地区の小学校や幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を重視し、百年公園の自然を活用した「秋みつけ」や、「ドングリぶえづくり」などの体験活動を多く実施した。

展示では、人文展示室 1 の「郷土の百年」コーナーを、小学生の社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に活用できるように展示替えした。その結果、多くの小学生が見学コースに入れて学習に利用した。また、旧徳山村民家を活用し、囲炉裏や洗濯板を使った体験活動を企画し、昔の暮らしを実感を持って理解するように努めた。

<団体利用状況>

月・日	団 体 名	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
4/23	関市・警察学校	初任科	98	3	展示解説（マイミュージアムギャラリー・自然・人文・恐竜）
5/ 6	岐阜市・三輪北小	小 5	26	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（水田にかかわる自然環境）
5/ 6	岐阜市・三輪北小	小 6	31	2	恐竜解説、人文展示ビンゴ、体験学習（三輪の遺跡と土器の移り変わり）
5/ 6	北名古屋・五条小	小 2	86	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/10	稲沢市・国分小	小 4	78	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（昆虫）
5/13	関市・金竜小	小 1	127	1	体験学習（春みつけ）
5/13	海津市・海津特別支援学校	中等部	20	1	自然展示ビンゴ
5/17	稲沢市・稲沢北小	小 3	55	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/17	一宮市・起小	小 4	88	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（春みつけ）
5/17	関市・桜ヶ丘小	小 2	80	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜 V T R、体験学習（春みつけ）
5/18	関市・倉知小	小 2	91	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
5/18	関市・武芸川中	中 1	64	1	自然展示ビンゴ・自由見学
5/19	関市・倉知小	小 2	84	1	体験学習（春みつけ）
5/20	岐阜県小学校社会科研究部会	教員	50	7	総会、講演、自由見学
5/21	揖斐川町・春日中	中 1・2	8	2	体験学習（川の流れ・赤坂金生山）
5/25	関市・金竜小	小 3	128	4	体験学習（里山オリエンテーリング）
5/25	関市・安桜小	小 3	78	5	体験学習（グリーンアドベンチャー・昆虫）、自然展示ビンゴ
5/26	岐阜市・光の園	一般	98	3	自由見学
6/ 1	関市・下有知小	小 2	90	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学、体験学習（春みつけ）
6/ 2	岐阜県高等学校教育研究会公民・地歴部会	教員	69	7	総会、自由見学
6/ 3	関市・寺尾小	小 1～4	14	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/10	関市・富岡小	小 2	94	1	体験活動（春みつけ）
6/17	名古屋市・名古屋教育文化センター	年少	42	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/22	一宮市・グループホームチアフル	一般	13	2	自由見学
6/24	海津市・石津小	小 5	87	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、展示解説（赤坂 金生山）
7/ 7	関市・中部学院大学		3	2	マイミュージアムギャラリー展示解説、学芸員の仕事
7/12	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/13	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/14	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/15	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/15	松浜保育園	年長	38	1	恐竜解説、自由見学
7/20	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/21	岐阜市・はなみずき苑	一般	4	2	自由見学
7/22	八百津町・錦津保育園	年長	16	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
7/31	関市・関特別支援学校	教員	1	8	奉仕活動
8/ 2	岐阜市・かぐや第三幼稚園	年長	50	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
8/ 3	岐阜市・かぐや第一幼稚園	年長	37	1	自由見学
8/ 4	美濃教育事務所	初任者	25	7	博物館の活用方法、自由見学
8/ 4	多治見北高等学校		1	8	職場体験（人文）
8/ 5	多治見北高等学校		1	8	職場体験（人文）
8/ 5	関市・中部学院大学		60	2	マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室解説
8/ 5	関市・中部学院大学		70	2	マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室解説
8/10	岐阜市・岐阜県緑化推進委員会（岐阜県みどりの少年団交流集会）	一般・小 1～6	131	2	恐竜解説、展示解説（昆虫の世界）、体験学習（森の観察、活動交流会）
8/17	岐阜県中学校理科研究部会	教員	61	7	実践発表会、自由見学
8/18	岐阜県小学校理科研究部会	教員	105	7	実践発表会、研修会（カワゲラウォッチング・化石レプリカ等）
8/19	御嵩町・伏見児童館	小 3・4	38	1	自然展示ビンゴ
8/20	稲沢市・ボーイスカウト稲沢 6 団バービー隊	年長～小 2		2	自然展示ビンゴ、自由見学
8/24	関市小学校理科部会	教員	21	3	研修会（昆虫標本の作製）、展示解説（昆虫の世界）
8/24	関市小学校生活科部会	教員	6	3	研修会（自然観察・秋のものづくり）
8/25	一宮市（愛知）・宮西公民館	一般・小 1～6	56	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜 V T R
8/26	岐阜市小中学校理科部会第 4 ブロック	教員	10	3	研修会（化石レプリカの作製）、展示解説（昆虫の世界）
8/26	関市・エコクラブ関	一般・児童	15	2	自然展示ビンゴ、体験学習（動物）
9/ 7	春日井市（愛知）・南城中	中 3	194	2	恐竜解説、自由見学
9/ 7	大野町・大野小	小 5	98	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
9/12	関市・富岡小	小 6	84	4	展示解説（濃尾震災）、体験学習（化石レプリカ）
9/12	関市・武芸川中	中 3	69	2	展示解説（濃尾震災）
9/17	一宮市（愛知）・奥小	小 6	176	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
9/23	坂下町・阿寺断層研究会	中 3	20	3	展示解説（濃尾震災）
9/29	七宗町・上麻生中	中 2	1	7	職場体験（人文・自然・普及）

月・日	団 体 名	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
9/30	七宗町・上麻生中	中2	1	7	職場体験（人文・自然・普及）
9/30	岐阜市・早田小	小1	91	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、展示解説（濃尾震災）
9/30	岐阜市・合渡小	小1	78	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
9/30	稲沢市（愛知）・片原一色小	小3	24	5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、体験学習（化石レプリカ）、展示解説（濃尾震災）
10/4	岐阜市・藍川中	中2	5	7	職場体験（人文・自然・普及）
10/4	関市・田原小	小2	77	1	体験学習（ドングリ笛）
10/4	関市・田原小	小1	61	1	体験学習（秋みつけ）
10/4	岐阜市・東小	小1	111	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/4	岐阜市・長良東小	小1	124	5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/5	岐阜市・藍川中	中2	5	7	職場体験（人文・自然・普及）
10/5	関市・小金田中	中2	5	7	職場体験（人文・自然・普及）
10/5	関市・武儀東小	小1・2	27	5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、体験学習（秋みつけ）
10/5	関市・武儀東小	小3	17	5	恐竜VTR、展示解説（昭和の道具）、体験学習（自然観察のこみちオリエンテーリング）
10/5	江南市（愛知）・古知野東小	中2	134	4	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ、恐竜VTR、展示解説（濃尾震災）
10/5	岐阜市・藍川中	中1	23	2	展示解説（濃尾震災）、自由見学
10/6	岐阜市・芥見小	小1	77	1	体験学習（秋みつけ）
10/6	関市・小金田中	中2	5	7	職場体験（人文・自然・普及）
10/6	各務原市・川島小	小2	117	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/6	岐阜市・鷺山小	小1	86	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/6	一宮市（愛知）・小信中島小	小2	121	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/6	大阪市（大阪）・大手前高		54	2	展示解説（濃尾震災）、自由見学
10/7	関市・小金田中	中2	5	7	職場体験（人文・自然・普及）
10/7	関市・富岡小	小1	90	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/7	稲沢市（愛知）・稲沢東小	小3	151	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/7	岐阜市・西小	小1	60	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/12	岩倉市（愛知）・曾野小	小2	103	1	自然展示ビンゴ
10/12	瑞穂市・西小	小1	55	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/12	関市・富野小	小1・2	44	1	体験学習（ドングリ笛）
10/13	一宮市（愛知）・北方小学校	小2	104	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/13	関市・洞戸小学校	小1・2	36	2	体験学習（秋みつけ）
10/14	江南市（愛知）・古知野北小学校	小2	90	1	自然展示ビンゴ
10/14	関市・博愛小学校	小1	38	4	体験学習（秋みつけ・ドングリ笛）、恐竜VTR
10/14	関市・博愛小学校	小2	39	4	体験学習（ドングリ笛）、恐竜VTR
10/14	下呂市・東第一小学校	小1・2	19	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/14	岐阜市・長森南小学校	小2	143	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）、自由見学
10/14	美濃市・大矢田小学校	小1	21	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）、恐竜VTR
10/14	美濃市・大矢田小学校	小2	22	3	恐竜解説、博物館の仕事、体験学習（秋みつけ）、恐竜VTR
10/14	郡上市・川合小学校	小1・2	35	1	自然展示ビンゴ
10/15	関市・警察学校	初任科	41	3	展示解説（自然・人文・特別展）
10/18	一宮市（愛知）・今伊勢小学校	小2	164	1	自然展示ビンゴ
10/18	関市・武儀西小学校	小1・2	18	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/18	関市・武儀西小学校	小3	7	2	展示解説（濃尾震災）、体験学習（古い道具と昔の暮らし）
10/18	大垣市・墨俣小学校	小1	47	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（実や葉を集めよう）
10/18	岐阜市・白山小学校	小5	34	1	自然展示ビンゴ
10/18	本巣市・あすなろ会	一般	34	2	展示解説（濃尾震災）
10/19	関市・武芸小学校	小1・2	46	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/19	安八町・名森小学校	小4	108	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/19	関市・桜ヶ丘小学校	小1	76	1	体験学習（秋みつけ）
10/19	サニーサイドインターナショナル幼稚園	年中	83	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/20	大山市（愛知）・羽黒小学校	小2	95	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/20	一宮市（愛知）・今伊勢西小学校	小1	63	2	自然展示ビンゴ、体験学習（ドングリ笛）
10/20	一宮市（愛知）・朝日東小学校	小3	68	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/21	岐阜市・中部学院大学附属幼稚園	年長	73	1	自然展示ビンゴ
10/21	関市・金竜小学校	小1	126	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/21	岐阜市・日野小学校	小1	70	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/25	岐阜市・岩野田北小学校	小1	88	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、展示解説（濃尾震災）、体験学習（秋みつけ）
10/25	岐阜市・藍川小学校	小1・2	113	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/25	美濃市・牧谷小学校	小1	25	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/26	一宮市（愛知）・大徳小学校	小1・2	80	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/26	稲沢市（愛知）・六輪小学校	小1・2	112	1	自然展示ビンゴ
10/26	関市・上之保小学校	小1・2	14	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/26	関市・上之保小学校	小3	11	2	自然展示ビンゴ、体験学習（古い道具と昔の暮らし）
10/26	大野町・大野町文化協会	一般	21	2	展示解説（濃尾震災）
10/27	関市・旭ヶ丘小学校	小1	58	1	体験学習（秋みつけ）
10/27	江南市（愛知）・門弟山小学校	小3	81	1	自然展示ビンゴ
10/27	扶桑町（愛知）・山名小学校	小3	54	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（古い道具と昔の暮らし）、恐竜VTR
10/27	扶桑町（愛知）・高雄小学校	小3	74	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/27	川辺町・川辺第一保育園	年長・年中	72	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/28	関市・旭ヶ丘小学校	小2	68	4	自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ・ドングリ笛・地震体験）
10/28	笠松町・松枝小学校	小2	99	4	体験学習（秋みつけ・ドングリ笛・実や葉を集めよう）
10/28	山県市・富岡小学校	小2	64	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
10/28	羽島市・正木小学校	小3	167	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
10/28	下呂市・下原小学校	小4	19	1	自然展示ビンゴ
10/28	魚類自然史研究会	一般	66	4	研究発表会、自由見学

月・日	団 体 名	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
10/28	魚類自然史研究会	一般	70	4	研究発表会、自由見学
11/ 1	関市・南ヶ丘小学校	小1・2	33	3	恐竜解説、恐竜VTR、体験学習（秋みつけ）
11/ 1	郡上市・三城小学校	小6	13	1	自由見学
11/ 1	関市・安桜小学校	小2	95	1	体験学習（秋みつけ）
11/ 1	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	4	1	自由見学
11/ 1	笠松町・下羽栗小学校	小1・2	140	1	自然展示ビンゴ
11/ 2	関市・瀬尻小学校	小1	81	2	体験学習（秋みつけ・ドングリ笛）
11/ 2	関保育園	年長	30	1	自然展示ビンゴ
11/ 2	富加町・富加小学校	小1	43	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 4	関市・板取小学校	小1・2	11	1	体験学習（秋みつけ）
11/ 4	関市・板取小学校	小3	6	1	体験学習（自然観察のこみちオリエンテーリング）
11/ 4	羽島市・中央小学校	小3	176	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 4	大垣市・静里小学校	小1	59	1	自然展示ビンゴ
11/ 4	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	6	1	自由見学
11/ 4	岐阜市・則武小学校	小1	79	1	自然展示ビンゴ
11/ 5	養老町・中央公民館		73	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、展示解説（大昔のくらし）
11/ 8	関市・桜ヶ丘中学校	中2	5	7	職場体験
11/ 8	関市・中濃特別支援学校 高等部		1	7	職場体験
11/ 8	各務原市・中央小学校	小1	85	2	自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
11/ 8	本巣市・席田小学校	小3	67	3	自然展示ビンゴ、体験学習（昆虫・古い道具と昔のくらし）
11/ 9	関市・桜ヶ丘中学校	中2	5	7	職場体験
11/ 9	関市・中濃特別支援学校 高等部		1	7	職場体験
11/ 9	関市・下有知小学校	小1	76	2	体験学習（秋みつけ・ドングリ笛）
11/ 9	山県市・美山小学校	小5	58	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/10	関市・桜ヶ丘中学校	中2	5	7	職場体験
11/10	関市・中有知小学校	小1	33	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（秋みつけ）
11/10	関市・中濃特別支援学校 高等部		1	7	職場体験
11/10	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	6	1	自由見学
11/10	揖斐川町・小島小学校	小4	42	1	恐竜解説
11/10	岐阜市・方県小学校	小4	24	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/10	関市・中濃特別支援学校 高等部		1	7	職場体験
11/11	岐阜市・網代小学校	小1・2	25	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、展示解説（濃尾震災）、体験学習（ドングリゴマ・ヘリコプター）
11/11	岐阜市・方県小学校	小1・2	40	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（ドングリ笛）
11/11	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	5	1	自由見学
11/12	犬山市・犬山市楽田婦人会	一般	39	2	展示解説（濃尾震災）、自由見学
11/12	川辺町・中川辺第一福寿会	一般	54	2	自由見学
11/17	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	4	1	自由見学
11/18	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	5	1	自由見学
11/24	各務原市・蘇原第一小学校	小4	177	1	自然展示ビンゴ
11/25	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	2	1	自由見学
11/25	関市・トンキッキーズ	一般	8	2	自然散策ガイド
11/30	可児市・旭小学校	小2	122	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
12/ 1	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	5	1	自由見学
12/ 2	揖斐川町・西濃学園		28	1	自由見学
12/ 8	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	6	1	自由見学
12/ 9	大垣市障害者団体連絡協議会	一般	4	1	自由見学
12/15	関市・西部保育園		37	1	恐竜解説、自由見学
1/12	関市・田原小	小3	65	1	体験学習（古い道具と昔のくらし）
1/18	海津市・高須小	小4	53	2	自由見学
1/20	龍門寺	一般	20	1	展示解説（人文展示室）
2/11	本巣市公民館		37	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
2/14	関市・富野小	小3	20	3	自然展示ビンゴ、体験学習（古い道具と昔のくらし・囲炉裏）、自由見学
2/15	関市・富岡小	小3	82	2	体験学習（古い道具と昔のくらし・囲炉裏・洗濯板）
2/17	関市・虹ヶ丘幼稚園	年長	85	2	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ
2/19	岐阜大学教育学部理科教育講座 生物・地学	小3	20	7	実習（自然観察・地層観察）
2/21	美濃加茂市・太田第一保育園		41	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/22	関市・金竜小	小3	133	2	体験学習（古い道具と昔のくらし・囲炉裏・洗濯板）
2/22	郡上市・三城小	小3	27	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（化石レプリカ）
2/23	美濃加茂市・加茂野保育園		121	3	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、自由見学
2/24	美濃加茂市・蜂屋保育園		62	1	恐竜解説、自由見学
2/24	岐阜県小学校社会科研究部会	教員	53	7	総会、自由見学
2/24	ヒストリー各務野会	一般	20	1	展示解説（人文展示室）
2/28	美濃加茂市・太田第二保育園	年長・年中	57	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/ 2	扶桑幼稚園	年長	69	2	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、自由見学
3/ 9	関市・金竜小	小4	148	4	体験学習（古い道具と昔のくらし・囲炉裏・洗濯板）
3/ 9	美濃加茂市・伊深保育園		29	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/ 9	関市・桐が丘幼稚園		74		恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ
3/ 9	美濃加茂市・三和保育園		13	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/16	多治見市・池田保育園		17	4	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、自由見学
3/28	多治見市・ぽかぽかクラブ		24	1	自然展示ビンゴ
3/29	美濃加茂市・牧野交流センター		43	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（化石クリーニング）
合 計		204 団体	11,050 人		

③ 出前授業・講師派遣
出前授業の実施回数は 15 回（小中学校 13 回、高校 2 回）であった。また、講師に招聘されたのは 19 回であった。

招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

＜出前授業＞

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授業内容
平成 23 年 6 月 14 日	関市立富岡小学校	4 年生	88	関市立富岡小学校	外来種について
平成 23 年 6 月 14 日	関市立瀬尻小学校	4 年生	65	関市池尻長良川右岸	カワゲラウオッチング
平成 23 年 6 月 23 日	武芸川中学校	2 年生	50	武芸川中学校	S P P 事業①(事前学習)
平成 23 年 6 月 29 日	武芸川中学校	2 年生	50	武儀川河川敷	S P P 事業②(武儀川の自然)
平成 23 年 7 月 12 日	郡上市立石徹白小学校	4 年生	13	石徹白川	カワゲラウオッチング
平成 23 年 7 月 12 日	関市立武儀東小学校	4 年生	11	津保川武儀倉川合流地点	カワゲラウオッチング
平成 23 年 9 月 27 日	武芸川中学校	2 年生	50	郡上市八幡町、高鷲町他	S P P 事業③(高鷲野外実習)
平成 23 年 10 月 18 日	武芸川中学校	2 年生	50	武芸川中学校	S P P 事業④(事後学習)
平成 23 年 10 月 25 日	可児高校	希望生徒	120	同校会議室	濃尾震災について
平成 23 年 10 月 29 日	美濃加茂市立山手小学校	5 年生	40	美濃加茂市立山手小学校	化石レプリカ
平成 23 年 11 月 5 日	大垣市立多良小学校	高学年	40	大垣市立多良小学校	化石レプリカ
平成 23 年 11 月 12 日	各務原市立鵜沼第一小学校	高学年	30	各務原市立鵜沼第一小学校	化石レプリカ
平成 23 年 11 月 22 日	可児高校	希望生徒	60	同校会議室	古文書入門
平成 24 年 1 月 19 日	岐阜市立藍川小学校	3 年生	54	同校学習室	昔の道具について
平成 24 年 2 月 28 日	関市立旭ヶ丘小学校	6 年生	74	関市立旭ヶ丘小学校	化石レプリカ

＜講師派遣＞

期 日	依 頼 先	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成 23 年 4 月 3 日	十六プラザ	一般	50	ぎふ触って味わう文化展
平成 23 年 4 月 13 日	県民ふれあい会館	岐阜県新規採用職員	50	岐阜県の文化と歴史
平成 23 年 5 月 7 日	中部学院大学各務原キャンパス	一般	37	各務原市民セミナー
平成 23 年 5 月 12 日	美濃市商工会	同会会員	20	戦国大名大嶋氏について
平成 23 年 7 月 3 日	加茂郡七宗町	一般	40	カワゲラウオッチングとホテル学習会
平成 23 年 7 月 16 日	青少年のための科学の祭典 2011 岐阜大会	一般	200	化石割り出し体験
平成 23 年 7 月 29 日	揖斐川歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉をつくろう
平成 23 年 8 月 3 日	揖斐川歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉をつくろう
平成 23 年 8 月 16 日	可児郡御嵩町	一般	30	化石レプリカ他
平成 23 年 8 月 23 日	中山道みたけ館	一般	31	絵解き 浮世絵講座～国芳の「木曾街道六十九次」を読み解こう！
平成 23 年 9 月 3 日	気多若宮神社御旅所	飛騨市古川町市中総代会	50	古川の街づくりの礎を築いた快存上人の偉業について
平成 23 年 10 月 22 日	中部学院大学関キャンパス	一般	200	化石レプリカ他
平成 23 年 10 月 29 日	各務原市那加第二小学校	小学生	45	勾玉づくり講座
平成 23 年 11 月 24 日	乙原歌舞伎保存会、松浦定太郎顕彰会	同会会員（一般）	40	岐阜県内の地芝居について
平成 23 年 12 月 1 日	関有知高校	高校中濃・加茂地区研究会	30	濃尾震災について
平成 24 年 1 月 21 日	各務原市産業文化センター	各務原市歴史研究会（会員・一般）	100	各務原の歴史
平成 24 年 2 月 24 日	当館研修室	ヒストリー各務野会	30	木曾川の歴史
平成 24 年 3 月 17 日	山県市のよさを見つけましょう会	一般	50	身のまわりの自然のすばらしさについて
平成 24 年 3 月 31 日	上之保方面隊	一般	80	化石クリーニング・大昔の生き物

④ 資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人	サントリー美術館、(株) NKK プロモーション	紺地白鷺文繡狩衣	平成 23 年 4 月 23 日	平成 23 年 8 月 4 日	1
	中津川映画祭委員会事務局	増山たづ子 写真パネル	平成 23 年 4 月 26 日	平成 23 年 5 月 5 日	19
	宗教法人 済法寺	十一面観音菩薩立像(レプリカ) 他	平成 23 年 5 月 1 日	平成 24 年 4 月 30 日	5
	岐阜市立芥見小学校	山田川河底採集資料	平成 23 年 5 月 2 日	平成 23 年 5 月 11 日	33
	岐阜市立加納中学校	関市内出土須恵器・県内出土勾玉	平成 23 年 5 月 8 日	平成 23 年 5 月 22 日	8
	中山道みたけ館	歌川国芳筆「木曾街道六十九次」(ポジ)	平成 23 年 5 月 10 日	平成 23 年 9 月 9 日	72
	郡上市立三城小学校	火おこし器	平成 23 年 6 月 4 日	平成 23 年 6 月 19 日	5
	中山道みたけ館	歌川国芳筆「木曾街道六十九次」	平成 23 年 6 月 25 日	平成 23 年 9 月 11 日	72
文	(株) テレビ朝日	浜斎英泉筆「岐阻路ノ駅 河渡 長柄川鵜飼船」(画像)	平成 23 年 7 月 7 日	平成 23 年 7 月 7 日	1
	(株) 藝華書院	初代歌川豊国・二代歌川豊国筆「摺物 市川団十郎代々」のうち「二代目大栢延団十郎」(画像)	平成 23 年 7 月 13 日	平成 24 年 3 月 9 日	1
	ネイチャーサイエンス体験活動	火おこし器	平成 23 年 8 月 12 日	平成 23 年 8 月 13 日	14
	関市立金竜小学校	糸車	平成 23 年 11 月 23 日	平成 23 年 12 月 2 日	1
	関市立田原小学校	洗濯板	平成 24 年 1 月 12 日	平成 24 年 1 月 21 日	6
	中津川市立阿木小学校	洗濯板	平成 24 年 2 月 4 日	平成 24 年 2 月 11 日	6
	(財) 千里文化財団	道中記他(ポジ)	平成 24 年 2 月 13 日	平成 24 年 2 月 20 日	4
	垂井町立垂井東小学校	植物標本(画像)	平成 24 年 1 月 7 日	平成 24 年 3 月 31 日	3
自	フジテレビ めざましどようびメガ	植物資料(レプリカ)	平成 23 年 6 月 4 日	平成 23 年 6 月 4 日	5
	岐阜市立加納小学校	化石標本・シリコン型	平成 23 年 12 月 10 日	平成 23 年 12 月 18 日	60
	南山国際高等学校	化石標本・シリコン型	平成 23 年 11 月 12 日	平成 23 年 11 月 19 日	60
	NPO法人 長良川環境レンジャー	化石標本・シリコン型	平成 23 年 11 月 5 日	平成 23 年 11 月 8 日	25
	県立岐山高等学校	化石標本・シリコン型	平成 23 年 10 月 13 日	平成 23 年 10 月 15 日	40
	岐阜市立七郷小学校	化石標本・シリコン型、河原の石標本	平成 23 年 10 月 10 日	平成 23 年 10 月 22 日	29
	金生山化石館	化石標本	平成 23 年 10 月 8 日	平成 24 年 1 月 30 日	20
	県立岐山高等学校	化石標本・シリコン型	平成 23 年 9 月 2 日	平成 23 年 9 月 7 日	40
然	高山市教育委員会小学校理科部会	化石標本・シリコン型	平成 23 年 8 月 19 日	平成 23 年 8 月 22 日	7
	高山市教育委員会生涯教育課	化石標本・シリコン型	平成 23 年 7 月 19 日	平成 23 年 8 月 2 日	100
	可児市教育委員会	化石標本	平成 23 年 7 月 21 日	平成 23 年 9 月 30 日	30
	南山国際高等学校	化石標本・シリコン型	平成 23 年 6 月 18 日	平成 23 年 6 月 25 日	60
	岐阜大学教育学部地学教室	化石標本	平成 24 年 2 月 18 日	平成 24 年 2 月 24 日	20
	岐阜県環境生活部	剥製標本	平成 23 年 12 月 16 日	平成 23 年 12 月 21 日	2
	穂積市立穂積中学校	頭骨標本	平成 23 年 11 月 10 日	平成 23 年 11 月 17 日	2
	河川環境楽園自然発見館	頭骨標本	平成 23 年 11 月 4 日	平成 23 年 11 月 5 日	27
	たじみの自然展実行委員会	剥製標本	平成 23 年 10 月 6 日	平成 23 年 10 月 11 日	21
	大垣市立興文中学校	頭骨標本	平成 23 年 9 月 21 日	平成 23 年 9 月 29 日	2
	エコミュージアム関ヶ原	剥製標本	平成 23 年 9 月 14 日	平成 23 年 12 月 28 日	6
	埼玉県立川越女子高等学校	ヌートリア(画像)	平成 23 年 9 月 8 日	平成 23 年 9 月 11 日	4
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	平成 23 年 7 月 15 日	平成 23 年 9 月 19 日	11
	美濃加茂市民ミュージアム	剥製標本	平成 23 年 7 月 13 日	平成 23 年 9 月 16 日	11
	岐阜聖徳学園大学附属小学校	骨格標本	平成 23 年 6 月 25 日	平成 23 年 7 月 2 日	3
	各務原市立各務小学校	昆虫標本	平成 23 年 6 月 25 日	平成 23 年 7 月 9 日	15
	河川環境楽園自然発見館	カイコ模型など	平成 23 年 6 月 24 日	平成 23 年 6 月 27 日	3
	各務原市立稲羽中学校	頭骨標本	平成 23 年 7 月 10 日	平成 23 年 7 月 15 日	6
	各務原市立緑苑小学校	骨格標本	平成 23 年 6 月 19 日	平成 23 年 7 月 3 日	4
	(有) ハユマ	骨格標本(画像)	平成 23 年 6 月 1 日	平成 23 年 7 月 31 日	9
	神戸町立神戸中学校	頭骨標本	平成 23 年 5 月 21 日	平成 23 年 5 月 28 日	2
	河川環境楽園自然発見館	剥製標本	平成 23 年 4 月 28 日	平成 23 年 5 月 6 日	28
	岐阜県立盲学校	頭骨標本	平成 23 年 5 月 11 日	平成 23 年 6 月 11 日	4
	多治見市立笠原中学校	頭骨標本	平成 23 年 4 月 24 日	平成 23 年 5 月 7 日	20
	各務原市立桜丘中学校	頭骨標本	平成 23 年 4 月 17 日	平成 23 年 5 月 5 日	19

⑤ 刊行物

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第 34 号	23. 4. 1	A4 35 頁	800	
平成 24 年度岐阜県博物館催しもの案内（掲示用）	24. 3. 31	B2	2,500	
平成 24 年度岐阜県博物館催しもの案内（携帯用）	24. 3. 31	A4 4 ツ折	47,500	
岐阜県博物館調査研究報告第 32 号	24. 3. 31	A4 47 頁	700	
博物館ガイド	24. 3. 29	A4 4 ツ折		
自然ビンゴカード・人文ビンゴカード	24. 3. 29	A4 両面		
【特別展等のポスター・リーフレット】				
濃尾震災 120 年	23. 9. 13	B2	2,800	
濃尾震災 120 年	23. 9. 13	A4 両面	95,000	
濃尾震災 120 年	23. 9. 13	A4 8 頁		
【資料紹介展・特別企画のポスター・リーフレット】				
赤坂 金生山 ～新川化石コレクション～	23. 4. 23	B2	800	
赤坂 金生山 ～新川化石コレクション～	23. 4. 23	A4 両面	20,000	
昆虫の世界 ～色と形の不思議～	23. 7. 9	B2	800	
昆虫の世界 ～色と形の不思議～	23. 7. 9	A4 両面	20,000	
発掘された飛騨・美濃の歴史	23. 11. 5	B2	800	
発掘された飛騨・美濃の歴史	23. 11. 5	A4 両面	23,000	
第 31 回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼 2011－2012	24. 2. 11	B2	800	
第 31 回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼 2011－2012	24. 2. 11	A4 両面	23,000	
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション第 124 号	23. 4. 3	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 125 号	23. 5. 21	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 126 号	23. 7. 9	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 127 号	23. 9. 3	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 128 号	23. 10. 22	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 129 号	23. 12. 10	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 130 号	24. 2. 11	A4 両面	1,000	
マイミュージアムギャラリー	24. 3. 7	B2	1,000	
マイミュージアムギャラリー	24. 3. 7	A4	10,000	

⑥ 図書館資料（平成 24 年 3 月末現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	19,815	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,489	
児 童 書	1,428	
博 物 館 資 料	5,003	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	31,735	

⑦ わくわく体験コーナー・展示解説

昨年度の反省から、学芸員の専門性を生かした展示解説の実施を充実した。展示替えを行った展示コーナーや企画展の解説を多数実施して好評を得た。

化石クリーニング体験や化石レプリカづくりを中心とした「わくわく体験コーナー」は、毎月実施し、家族連れを中心に多くの方の利用があった。

(2) 広報活動

展示や催しものについては、マスメディアやフリーペーパーなどに積極的に情報提供を行った。また、コンビニエンスストアや近隣のショッピングモールなどにも、ポスター・チラシの掲載・布置を実施できた。

団体利用では、学校団体が多いため、教員研修会などで、博物館利用の説明を行い、具体的な利用方法についての情報を提供した。

(3) 博物館実習

7 月 25 日（月）から 7 月 29 日（金）までの 5 日間、岐阜大学（7 名）、岐阜聖徳学園大学（5 名）、岐阜女子大学（2 名）、名古屋芸術大学（2 名）、立命館大学（1 名）、京都文教大学（1 名）、八洲学園大学（1 名）、金城学院大学（1 名）、静岡大学（1 名）、三重大学（1 名）の 10 大学から 22 名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文 11 名、自然 6 名（植物 1 名、動物 3 名、地学 2 名）、教育普及 5 名であった。実習生指導は、共通実習と選択分野別実習を学芸部各担当職員によって行った。

(4) アンケート

企画展・マイミュージアムギャラリーの展示・団体利用のアンケートを行っている。アンケートにより、利用者の年齢層、地域、来館目的などを把握し、展示活動や教育普及活動に生かしている。

9 利用状況

(1) 入館者数

平成 23 年度は、入館者数 45,800 人で前年に比べて 1,277 人、2.9%の増となった。これは、3 月 11 日に起きた東日本大震災を機に地震に対する関心が高まり、特別展「濃尾震災 120 年」の期間中の入館者数が増加したことが要因と思われる。

開館日数は 293 日であり、1 日平均の入館者数は 156 人で、1 日あたりの入館者が最も多かった日は、館の無料開放日となる 11 月 3 日の文化の日で 1,456 人を数えた。

団体入館者数は 204 団体、11,050 人で、入館総数の約 24.1%を占めており、月別では 10 月が 4,613 人で一番多く、団体入館者総数の 41.7%を占めている。

特別展期間中に入館者総数は 14,939 人を数え、1 日平均は 276 人であった。

月	高校生以下	大学生	一 般	計	開館日数	一日平均
4	1,469	19	2,378	3,866	26	149
5	2,779	34	2,952	5,765	26	222
6	1,178	21	2,634	3,833	26	147
7	1,457	32	1,621	3,111	27	115
8	2,267	162	2,565	4,994	26	192
9	1,639	45	1,882	3,566	26	137
10	5,485	10	2,984	8,479	26	326
11	2,481	13	2,960	5,454	26	210
12	331	23	513	867	24	36
1	491	15	735	1,241	17	73
2	1,004	29	1,023	2,056	16	129
3	1,203	32	1,334	2,569	27	95
計	21,784	435	23,581	45,800	293	156

特 別 展 名	期 間	高校生以下	大学生	一般	計
濃尾震災 120 年	9 / 13 ~ 11 / 13	8,363	31	6,545	14,939

(2) 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の主な利用者は、次のとおりであった。

<講堂>

4/ 9	サポーター研修会	8/20	岐阜県植物誌調査会
4/ 9	岐阜県植物誌調査会	8/24	関市小学校理科研究部会
4/10	岐阜鉄道模型クラブ	9/13	サポーター研修会
4/28	岐阜県博物館協会理事会	9/17	岐阜県植物誌調査会
5/20	岐阜県小学校社会科研究部会	9/29	岐阜県博物館協会 地域活性化委員会
5/26	岐阜県博物館友の会	10/20	岐阜県博物館友の会
6/ 2	岐阜県高等学校教育研究会 公民・地歴部会	10/22	岐阜県植物誌調査会
6/18	岐阜県植物誌調査会	11/ 9	岐阜県博物館協議会
7/ 7	中部学院大学	11/26	岐阜県植物誌調査会
7/23	岐阜県植物誌調査会	12/17	岐阜県植物誌調査会
8/ 4	美濃教育事務所 初任者研修	1/11	岐阜県博物館友の会
8/17	岐阜県中学校理科研究部会	1/28	岐阜県植物誌調査会
8/18	岐阜県小学校理科研究部会		

<研修室>

4/21	ダチョウ組	8/18	岐阜県小学校理科研究部会
4/24	ダチョウ組	8/24	関市小学校生活科研究部会
4/29	ダチョウ組	8/26	岐阜市小中学校理科研究部会
5/20	岐阜県小学校社会科研究部会	9/11	ダチョウ組
5/28	ダチョウ組	10/22	ダチョウ組
6/ 4	ぎふ哺乳類動物研究会	11/ 6	ダチョウ組
6/26	大垣労山会	12/ 4	ダチョウ組
8/ 4	美濃教育事務所 初任者研修	12/11	C S T
8/17	岐阜県中学校理科研究部会		

<ハイビジョンホール>

8/16	岐阜県中学校理科研究部会	10/29	魚類研究会
8/17	岐阜県小学校理科研究部会	10/30	魚類研究会

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、動物・植物・地学等の自然系や歴史・考古・民俗・美術工芸等の人文系などに興味、関心を持つ人々の展示観覧、研究、学習の便宜を図って、博物館の教育普及との密接な連携により、博物館の事業や活動をサポートする会である。

平成 23 年度の一般会員数は 217 名、後援会員は 9 団体である。22 年度との比較で一般会員は横ばいであるが、近年、会員数は減少傾向にある。継続会員の高齢化による退会と、新規会員の減少によるものである。

県民に「友の会」の存在や活動内容について知ってもらうことが必要である。そのためにも館との共催事業での連携を図り、豊かな活動の推進を心がけている。

平成 23 年度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議・各種委員会

5/26	春季理事会・総会	4/28	会報委員会
10/20	秋季理事会	11/10	七草委員会
3/17	会長・副会長会	1/ 6	七草委員会

② 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は 101 号 (6 月)、102 号 (10 月)、103 号 (2 月) の年 3 回、A4 判 6 頁で各 300 部を発行した。

③ 在庫図録の販売

館内ショップの他、次の施設での委託販売を行った。

県内	高山陣屋、レストハウス花兆、百年公園事務所、岐阜県世界淡水魚水族館 (アクア・トトぎふ)、下呂温泉博物館、海津市歴史民俗資料館
県外	東京国立博物館 国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)、

④ 博物館との共催事業の実施

ア 特別行事「七草がゆを食べよう (1 月 7 日)」

好天にも恵まれ、地元の市長や県議をはじめ約 200 名の参加で賑わった。16 名のサポーター、ボランティアの協力を得て、七草クイズの企画や七草がゆの提供でたいへん好評であった。

イ わくわく体験共催事業

児童・生徒を対象とした化石クリーニング、化石レプリカづくり等の体験を郷土学習室で実施した。毎月第 1・第 4 土日の開催に、年間で約 1900 名の参加者があった。

ウ たのしい博物館

「木でこいのぼりと五月人形をつくろう」「化石のレプリカをつくろう」等、31 回の催し物を実施した。

⑤ 友の会員入館の入館料補助

会員の博物館見学者は、平成 23 年度の 1 年間に、常設館の入館者 224 名、特別展期間中入館者 58 名、合計 282 名あり、その入館料 (団体料金相当) を友の会で助成した。

⑥ 探訪の旅

友の会では、会員相互の見聞を広め教養を高めるとともに、親睦を図ることを目的に、海外への探訪並びに国内の探訪を実施している。昭和 61 年以降、これまでに国内探訪として 72 カ所の名所、旧蹟を訪ねる旅を実施した。平成 4 年からは、海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、14 回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。

平成 23 年度の探訪の旅は以下の通りである。

ア「隠岐の歴史を訪ねて」

5 月 11 日 (水) ～ 5 月 13 日 (金) 参加者 31 名
イ「信州 ～伊那・高遠の古刹を訪ねて～」

10 月 1 日 (土) 参加者 34 名
ウ「インド世界遺産の旅」

2 月 13 日 (月) ～ 2 月 19 日 (日) 参加者 21 名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

45 周年記念行事の「白山文化講演会＋白鳥拝殿踊り披露」ほか、公開講座 (年 4 回)、機関紙発行 (年 3 回)、会員研修会 (年 2 回) 等の諸事業を行った。

平成 24 年 3 月現在、会員館は 126 館、個人会員は 15 名。

主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、河合正明、榎本徹、西永勝己、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/15	協会監査
4/28	第 1 回理事会
6/ 4	岐阜県博物館協会通常総会
6/ 4	白山文化講演会＋白鳥拝殿踊り披露
6/17	機関紙委員会
7/22	東海地区博物館連絡協議会総会
7/17	第 128 回公開講座
8/ 4	第 77 回会員研修会
8/ 7	第 129 回公開講座
8/20	第 127 回公開講座
9/ 1	機関紙『岐阜の博物館』第 166 号発行
9/29	地域博物館活性化委員会
10/19	東海三県博物館協会研究交流会
10/20 ～ 21	全国博物館大会
1/21	第 130 回公開講座
2/ 1	機関紙『岐阜の博物館』第 167 号発行
3/ 1	機関紙『岐阜の博物館』第 168 号発行
3/13	第 2 回理事会
3/22	第 78 回会員研修会
3/22	研修委員会

Ⅲ 利用案内 (平成24年度)

- 開 館 時 間 4月～10月 9時 ～16時30分 (入館は16時まで)
 11月～3月 9時30分 ～16時30分 (同上)

- 入 館 料

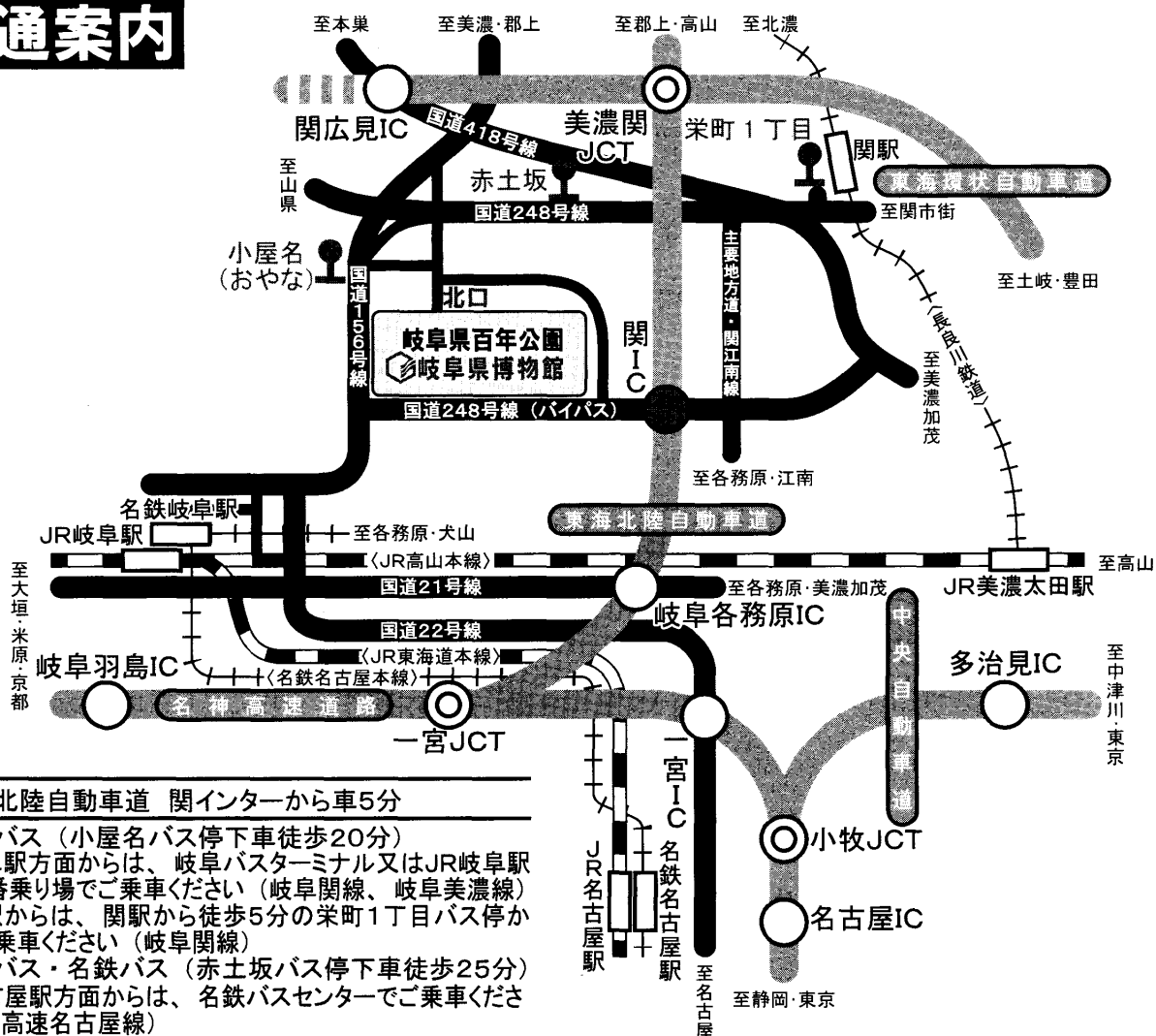
区 分	本 館		マイ・ミュージアム
	通 常	特別展開催中	
一 般	320(260) 円	600(520) 円	無 料
大 学 生	110(50) 円	300(200) 円	
小 中 高 生	無 料	無 料	

() は20名以上の団体

- 休 館 日 ・月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
 ・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

- 駐 車 場 岐阜県百年公園駐車場をご利用ください。
 駐車料金・・・普通 (軽) 自動車 300 円 バス 820 円

交通案内



- ・東海北陸自動車道 関インターから車5分
- ・岐阜バス (小屋名バス停下車徒歩20分)
 ※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください (岐阜関線、岐阜美濃線)
 ※関駅からは、関駅から徒歩5分の栄町1丁目バス停からご乗車ください (岐阜関線)
- ・岐阜バス・名鉄バス (赤土坂バス停下車徒歩25分)
 ※名古屋駅方面からは、名鉄バスセンターでご乗車ください (高速名古屋線)

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場 (有料) をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。